



Co-Founders of Innovation



株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ

〒113-8485 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学南研究棟3F

Tel 03-5844-6671

Fax 03-5844-6672

Mail [info@ut-ec.co.jp](mailto:info@ut-ec.co.jp)

Web <https://www.ut-ec.co.jp>

The University of Tokyo Edge Capital Partners Co., Ltd.

7-3-1, Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8485, Japan

Tel +81-3-5844-6671

Fax +81-3-5844-6672

Mail [info@ut-ec.co.jp](mailto:info@ut-ec.co.jp)

Web <https://www.ut-ec.co.jp>



Science/Technologyを軸に、資本・人材・英知を還流させ、  
世界・人類の課題を解決するための新産業を創造する

We create new industries to solve global issues of humankind, by bringing capital,  
talent and knowledge, around science and technology

郷治 友孝

*Tomotaka Goji*



## 優れた Science/Technology

- 軸となる東京大学に加え、全国の大学、研究機関、企業、政府と連携し、インパクトのある技術をソーシング
- 必要に応じて組織を超えてテクノロジーをロールアップ



## 強力なチーム

- テクノロジーを活かした事業を強力に推進できるプロフェッショナルマネジメントを重視
- 製品開発・オペレーション・管理面においても強力なチームを構築



## グローバルな 市場や課題

- 設立当初からグローバル市場を視野
- 全人類的な課題の解決を志向

## 主な実績

 <p>Cirius Technologies The Ubiquitous Business Catalyst.</p> <p>2010年8月 ヤフー株式会社がM&amp;A</p>	 <p>Morpho</p> <p>2011年7月 東証マザーズ上場</p>	 <p>Naked Technology</p> <p>2011年9月 株式会社ミクシィがM&amp;A</p>	 <p>PHYZIOS</p> <p>2013年2月 Google, IncがM&amp;A</p>	 <p>PeptiDream</p> <p>2013年6月 東証マザーズ上場 2015年12月 東証一部上場</p>
 <p>popIn</p> <p>2015年5月 バイドゥ株式会社がM&amp;A</p>	 <p>GLM</p> <p>2017年9月 香港上場O Luxe HDと資本提携</p>	 <p>ACSL</p> <p>2018年12月 東証マザーズ上場</p>	 <p>muji</p> <p>2019年2月 MBO</p>	 <p>AI inside</p> <p>2019年12月 東証マザーズ上場</p>
 <p>Neural Pocket</p> <p>2020年8月 東証マザーズ上場</p>	 <p>908devices</p> <p>2020年12月 米国Nasdaq上場</p>	 <p>FYUSION</p> <p>2020年12月 Cox Automotive Inc.がM&amp;A</p>	 <p>AGARA</p> <p>2021年11月 Coinbase Global, Inc.がM&amp;A</p>	 <p>JDSC UPGRADE JAPAN</p> <p>2021年12月 東証マザーズ上場</p>
 <p>FINATEXT</p> <p>2021年12月 東証マザーズ上場</p>	 <p>Green Earth Institute</p> <p>2021年12月 東証マザーズ上場</p>	 <p>Inst. Global Society</p> <p>2021年12月 東証マザーズ上場</p>		

# UTECHについて

2004年以来、総額で847億円規模の5つのファンドを組成

- ▶ 創業 2004年4月1日
- ▶ 運営会社 株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ
- ▶ 運営する投資事業有限責任組合（ベンチャーキャピタルファンド）

## UTECH 5号投資事業有限責任組合

設立・・・・・・・・・・・・・・・・・・2021年5月7日  
無限責任組合員（GP）・・・・・・・・UTECH Partners有限責任事業組合  
規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・約304.1億円  
投資先・・・・・・・・・・・・・・・・・・28件（保有中28件）

## UTECH 4号投資事業有限責任組合

設立・・・・・・・・・・・・・・・・・・2018年1月17日  
無限責任組合員（GP）・・・・・・・・UTECH Partners有限責任事業組合  
規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・約243.1億円  
投資先・・・・・・・・・・・・・・・・・・36件（保有中33件、上場3件、M&A等1件）

## UTECH 3号投資事業有限責任組合

設立・・・・・・・・・・・・・・・・・・2013年10月15日  
無限責任組合員（GP）・・・・・・・・UTECH 3 Partners 有限責任事業組合  
規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・約145.7億円  
投資先・・・・・・・・・・・・・・・・・・31件（保有中16件、上場3件、M&A等2件）

## UTECH 2号投資事業有限責任組合

設立・・・・・・・・・・・・・・・・・・2009年7月31日  
無限責任組合員（GP）・・・・・・・・UTECH、UTECH Venture Partners株式会社  
規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・約71.5億円  
投資先・・・・・・・・・・・・・・・・・・13件（保有中4件、上場2件、M&A等2件）

## ユーテック一号エグジット投資事業有限責任組合

設立・・・・・・・・・・・・・・・・・・2004年7月1日  
無限責任組合員（GP）・・・・・・・・UTECH  
規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・約83億円  
投資先・・・・・・・・・・・・・・・・・・34件（上場9件、M&A等8件）

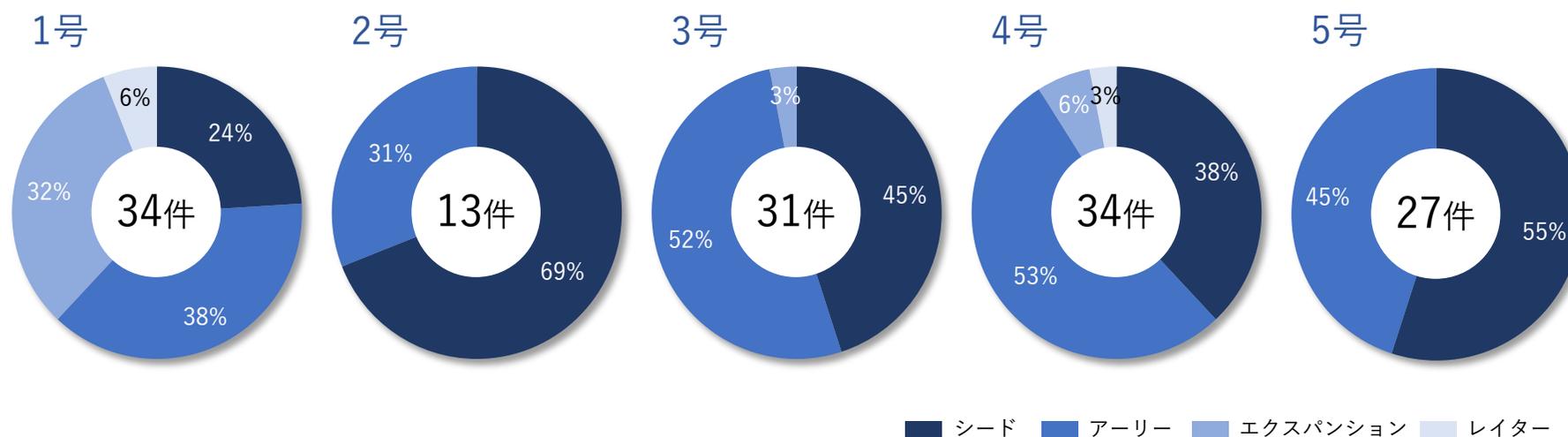
# UTECHについて

シード・アーリーをメインとした  
総合的なサポート

UTECHの投資対象は、会社設立前を含むシード・アーリー段階のスタートアップ

初回投資時のフェーズ※1,※2

件数ベース/%



※1 フェーズの定義については、2021 National Venture Capital Association Yearbookを基準としている

※2 2022年4月時点。ただし、複数ファンドより並行投資している案件は各々のファンドでカウント（FoF 出資は除く）

# UTECHについて

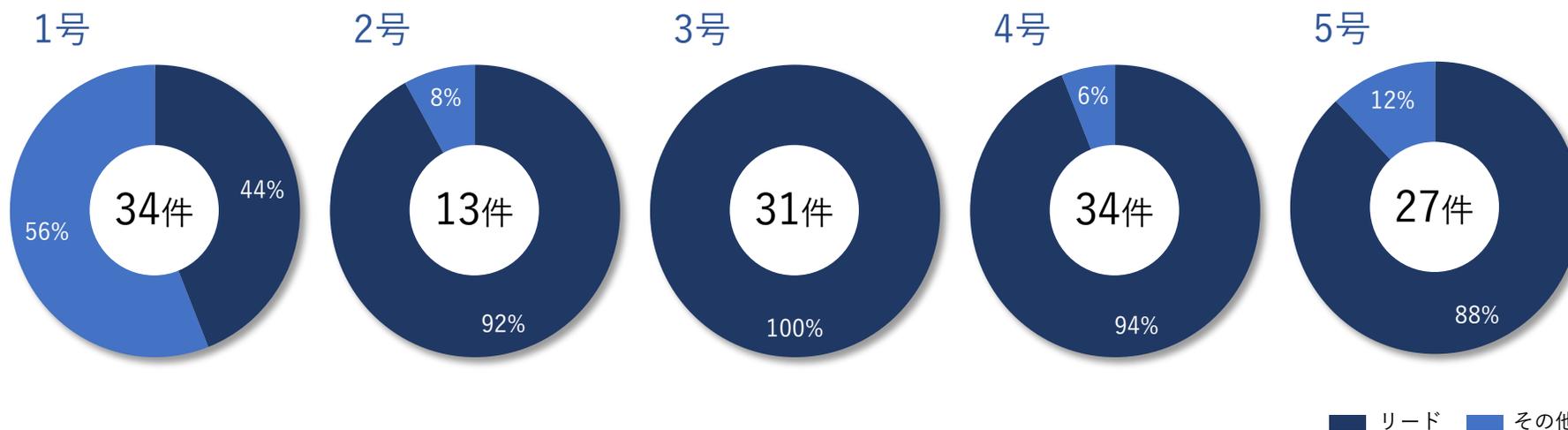
## 強いコミットメント

リード投資家として、投資先の経営・ファイナンス面を支える

※ほとんどの投資先に対して、リード投資家として取締役や監査役を派遣し、積極的にバリューアップ・経営支援

リードポジションの割合※1,※2

件数ベース/%



※1 過去のファイナンスにおいてリードポジションを取ったことがある、取っている件数の割合

※2 2022年4月時点。ただし、複数ファンドより並行投資している案件は各々のファンドでカウント（FoF 出資は除く）

# グローバル展開

## 大学・研究機関との連携及び ポートフォリオのグローバル進出

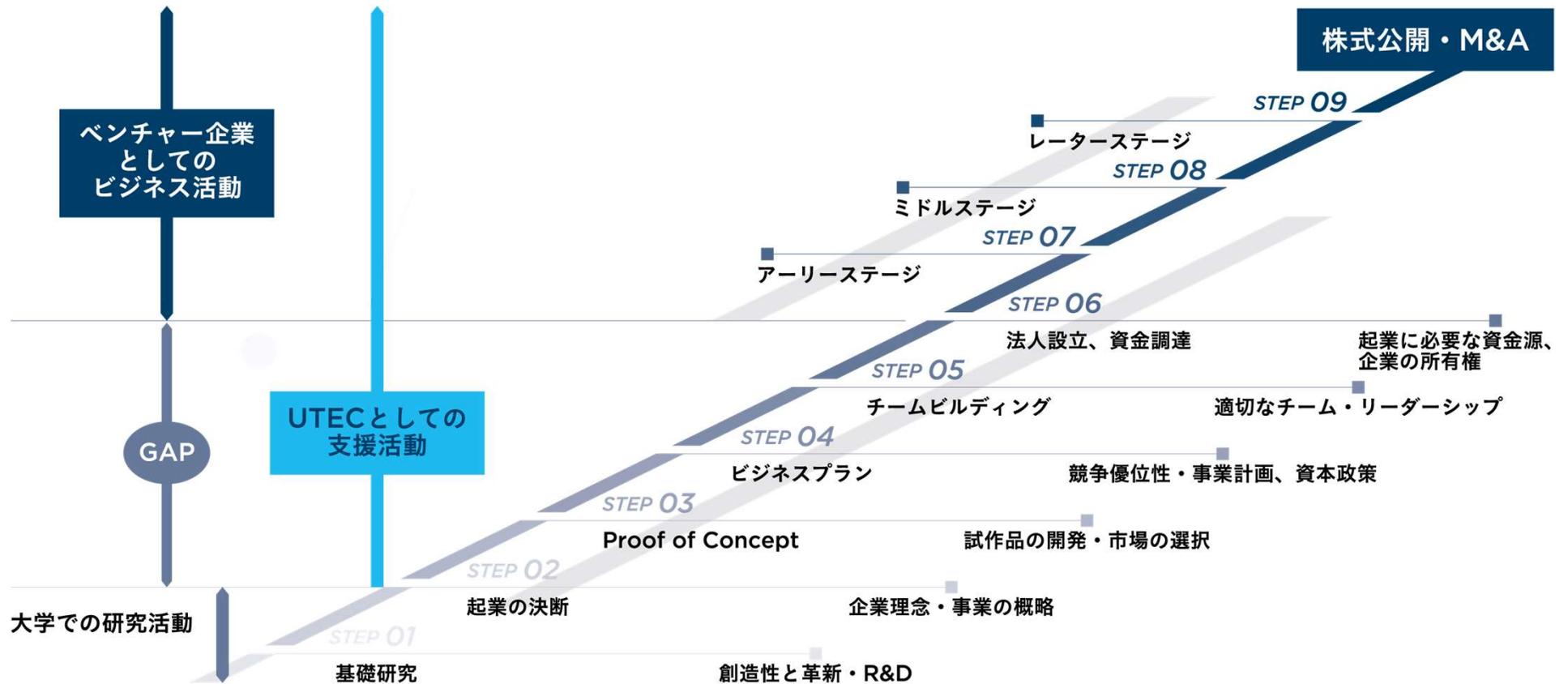
■ 投資先拠点



# Network

# インベストメント・フロー

## UTEKの投資・支援



# 大学へのスポンサーシップ

UTECは2017年以降、東京大学の25のプロジェクトのスポンサーシップを開始し、研究者や学生へのサポートを強化。ベンチャーキャピタル事業の成果をもとに、東京大学をはじめとした大学・研究機関等へのサポートを拡充しております。



東京大学基金 UTEC 東京大学未来社会協創基金  
UTEC-UTokyo FSI Research Grant Program

本部 産学協創推進本部  
GAPファンドプログラムの運営、特許出願等手続の充実

研究推進部  
東京大学卓越研究員支援

教育・学生支援部  
スポーツ振興基金・運動部器具備品基金  
UTEC 東京大学奨学金  
UTokyo Alumni Giving Campaign 2021

医学部附属病院  
学術研究助成  
トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ (TR 機構)

大学院法学政治学研究科  
法・政治分野における先端的科学技術の活用と分野融合研究のため

大学院医学系研究科  
ライフイノベーション・リーディングプログラム

大学院工学系研究科  
リーダー博士人材育成基金  
自分で守る健康社会COI 拠点：医療技術評価実験室関連寄附金  
Deep Learning 人材育成基金  
社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム  
(GSDM) の人材育成及び研究基盤強化  
ブロックチェーン・イノベーション寄附講座  
アントレプレナーシップ教育デザイン寄附講座

大学院理学系研究科  
理学若手未来基金

大学院農学生命科学研究科  
農学創発基金 (若手研究者支援事業)

大学院経済学研究科  
金融教育研究センター助成金

大学院薬学系研究科  
薬学若手研究支援

大学院新領域創成科学研究科  
新領域研究助成金 (河野重行 東京大学名誉教授)  
新領域創成科学研究教育振興基金

大学院情報理工学系研究科  
情報理工学系研究基盤整備プロジェクト  
次世代知能科学研究センター

医科学研究所  
若手研究者育成プロジェクト

生産技術研究所／先端科学技術研究センター  
駒場リサーチキャンパス・若手海外自由展開・研鑽支援プログラム



学術研究・産学官連携推進本部  
大学発ベンチャー応援事業 Tongali プロジェクト



工学研究院  
インテリジェント飛行寄附講座

# 投資先企業

## ■ Life Science & Healthcare ..... p12-32

ImmunoScape Pte. Ltd.  
 エディットフォース株式会社  
 株式会社Epigeneron  
 Elixirgen Therapeutics, Inc.  
 株式会社Elixir Pharma  
 オリシロジェノミクス株式会社  
 株式会社クリュートメディカルシステムズ  
 五稜化薬株式会社  
 セレイドセラピューティクス株式会社  
 ソシウム株式会社  
 タグシクス・バイオ株式会社  
 株式会社糖鎖工学研究所  
 Tricog Health Pte. Ltd.  
 株式会社PURMX Therapeutics  
 Bugworks Research, Inc.  
 bitBiome株式会社  
 Faraday Pharmaceuticals, Inc.  
 株式会社ミルテル  
 株式会社メトセラ  
 ユナイテッド・イミュニティ株式会社  
 Repertoire Genesis 株式会社

## ■ IT ..... p33-62

株式会社アイデミー  
 株式会社アダコテック  
 株式会社ALGO ARTIS  
 株式会社Alumnote  
 Institution for a Global Society 株式会社  
 VividQ Limited  
 株式会社estie  
 株式会社ELEMENTS  
 株式会社お金のデザイン  
 OPALai Pte. Ltd.  
 株式会社obniz  
 Obviously AI, Inc.  
 株式会社Capex  
 株式会社コンシェルジュ  
 シーオス株式会社  
 株式会社JDSC  
 スタートバーン株式会社  
 スタジオアンビルト株式会社  
 SWAT Mobility Pte. Ltd.  
 株式会社DATAFLUCT  
 TXP Medical 株式会社  
 株式会社ティアフォー  
 Tellus You Care, Inc.  
 株式会社HashPort  
 株式会社Finatext ホールディングス  
 PaylessGate株式会社  
 株式会社レトリバ  
 Locix Inc.  
 株式会社ROMS  
 WASSHA 株式会社

## ■ Physical Science & Engineering ..... p63-76

株式会社アルガルバイオ  
 株式会社ASM  
 エクセルギー・パワー・システムズ株式会社  
 Enterasense Limited  
 株式会社科学計算総合研究所  
 Green Earth Institute 株式会社  
 SUN METALON Inc.  
 NExT-e Solutions 株式会社  
 Nelumbo, Inc.  
 BionicM株式会社  
 ベジタリア株式会社  
 マイクロ波化学株式会社  
 Ubifly Technologies Pvt. Ltd (ePlane)  
 Liminal Insights Inc.

## ■ Fund ..... p77-79

Amadeus V Technology Fund LP  
 Deep30 投資事業有限責任組合  
 Blume Ventures – Fund III

## Team ..... p80-87

Alumni Venture Partner ..... p88  
 その他役員及びシニアアドバイザー ... p89

# ImmunoScape Pte. Ltd.

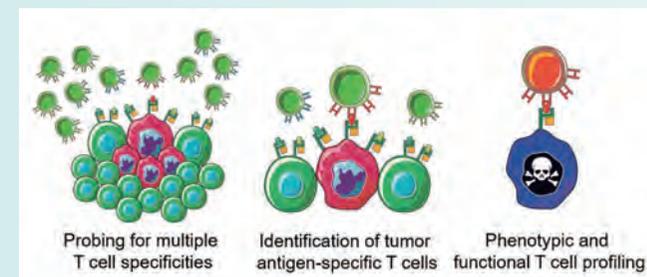
Enabling immunotherapy through high-dimensional immune profiling



**Q1** A\*STAR Singapore Immunology NetworkのEvan Newell博士らによって開発された免疫プロファイル技術を活用し免疫療法の発展及び治療法の確立に貢献する為に起業

**Q2** マスサイトメーターを用いて免疫プロファイルを解析できる世界唯一の会社。特に抗原特異的T細胞を網羅的に解析することで新規抗原やバイオマーカーを開発し、開発中の免疫療法の有効性・安全性を高める

**Q3** グローバルな事業開発の支援、東京大学をはじめとする日本アカデミアとの連携支援、経営体制・チーム強化



Immunological insights provided by ImmunoScape



Map of immune response landscape

## エディットフォース株式会社

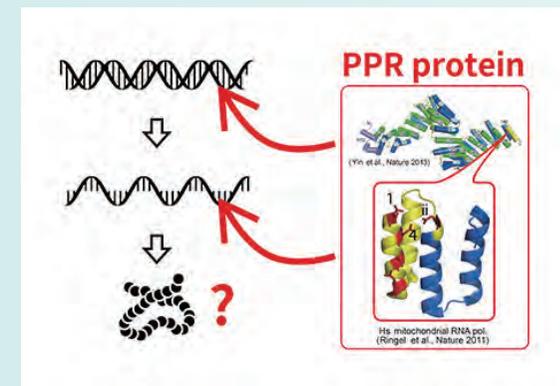
日本発のゲノム編集技術を通じて国内外の創薬、農業、物質生産の産業革新に貢献する



**Q1** 海外で先行するZFN、TALEN、CRISPR等のゲノム編集技術に対して、日本発のゲノム編集技術を事業化すべく、九州大学の中村崇裕准教授が発明したPPR技術をコア技術として設立

**Q2** PPR技術はゲノム編集の主流であるDNAのみならず、その下流であるRNAも認識が可能。DNA/RNAの両方が編集可能な世界初のゲノム編集ツールで、ポストゲノム時代の革新的な企業となる

**Q3** 事業計画のブラッシュアップ。経営人材、パートナー等の紹介。IPOなどのエグジット体制構築支援



PPRがDNA/RNAに作用する模式図

# 株式会社Epigeneron

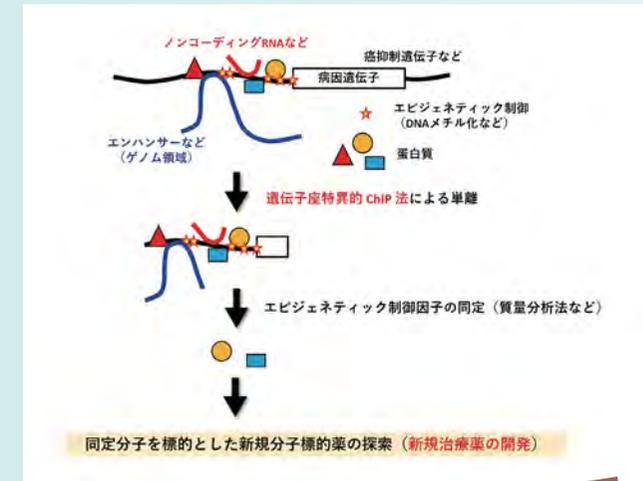
新薬を開発することによる、全ての人を病の苦しみから解放できる社会の実現



**Q1** 現弘前大学大学院医学研究科教授の藤井穂高氏らによる遺伝子座特異的ChIP法の開発によって、ゲノム機能の局所的生化学的解析が可能になり、ゲノム機能の異常に起因する疾患の治療法の開発が格段に容易になったこと

**Q2** 遺伝子座特異的ChIP法をはじめとする革新的な技術の開発力。現在ホットな領域ではなく、先々を見据えた展望力や問題の打開力

**Q3** 資金面でのサポート、特許の強化、経営人材の探索、ビジネスモデルの構築などでの支援



遺伝子座特異的ChIP



集合写真

# Elixirgen Therapeutics, Inc.

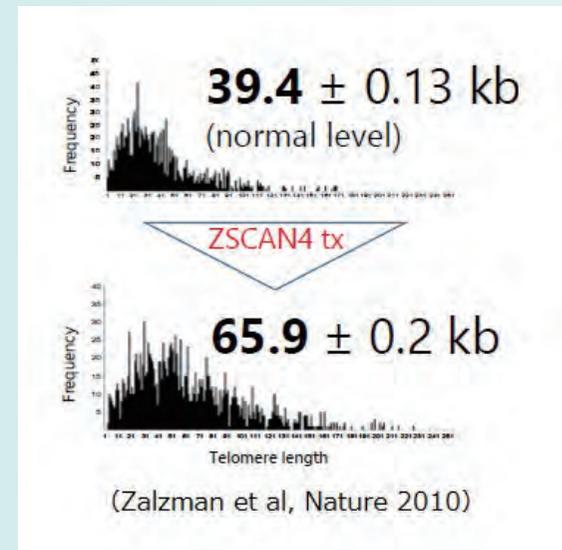
ZSCAN4を用いた細胞治療法による希少疾患の治療を目指す



**Q1** 慶應義塾大学洪実教授が米国NIH時代に発見した遺伝子ZSCAN4の臨床応用

**Q2** ZSCAN4遺伝子が幹細胞のゲノム安定性を増しテロメアを伸長するという発見に基づく。ZSCAN4を、ゲノムを障害しないより安全なRNA治療薬の形で造血幹細胞などの細胞に導入する技術を開発。米国FDAとPre-INDを終了し、先天性角化不全症を含むテロメア病の早期臨床治験を目指す

**Q3** 臨床治験にむけての加速資金、企業・投資家・人材などへのネットワーキング機会、IPOに向けた体制構築の支援などの提供



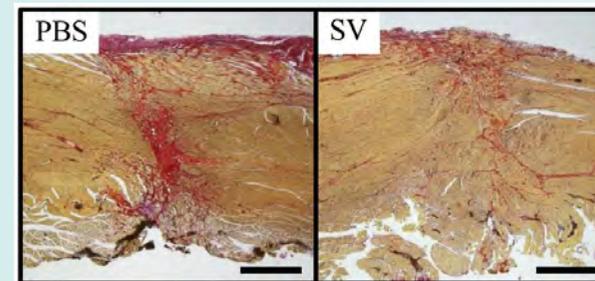
ZSCAN4によるテロメア伸長の例

# 株式会社Elixir Pharma



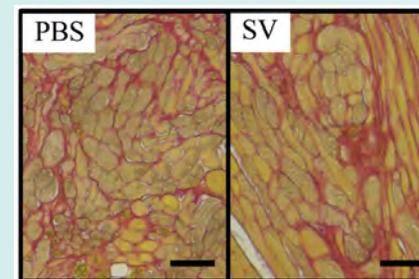
老化による歩行機能低下を解決する医薬品創出による「活動的な健康長寿社会」の実現

**Q1** 生体内の骨基質蛋白質として知られるオステオポンチンの一部分が筋肉再生機能を持つことが大阪大で発見され、筋肉の萎縮や断裂に対する治療剤として開発に取り組むに至った



SVペプチドは瘢痕形成を抑制する

**Q2** 骨格筋衛生細胞を活性化させる機能性ペプチド技術、およびその応用力(筋肉の減少や損傷、線維化などを伴う様々な疾患への適応の可能性)



Tanaka S et al (2019) Peptides116, 8-15  
SVペプチドは筋繊維を太くする

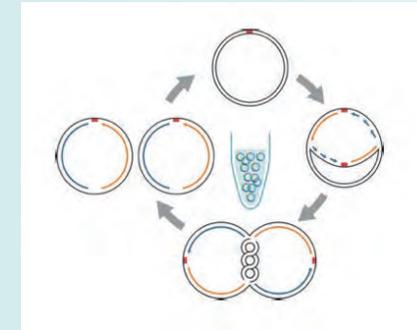
**Q3** GLP毒性試験の具体化及び組織体制の強化に繋がるファイナンス支援、事業展開の加速につながる幹部人材採用などの支援

## オリシロジェノミクス株式会社

革新的なDNA合成・増幅技術を基盤とした合成生物学企業

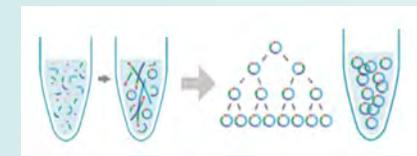


**Q1** 当社創業者の一人である末次正幸立教大学教授が内閣府の研究促進制度であるImPACTプログラムの下で、細胞を使わずに長鎖DNAを増幅する画期的な技術を発明。バイオの新たな成長分野として期待される合成生物学の基盤技術として実用化する目的で、UTECが主導して起業した



大腸菌ゲノムの複製プロセスを試験管内で再現

**Q2** バイオの研究開発に欠かせない長鎖DNAの増幅には現在、大腸菌をはじめとした微生物の細胞が使われているが、手間と時間がかかる問題があった。当社技術では細胞を使わずにたんぱく質のみで増幅することができ、研究の手間と時間を大幅に省くことができる。さらには従来手法では増幅できなかったDNA配列も増幅可能となり、研究開発の対象を飛躍的に拡大できる。また、複数のDNA断片を同時に連結させて長鎖DNAを従来よりも高い効率で合成する技術も保有する。連結と増幅の技術を組み合わせることで、ゲノムサイズのDNAを簡便にかつ高効率で合成することが可能となる



DNA断片からゲノムサイズのDNAを効率的に合成

**Q3** この技術の革新性に早い段階から注目し、経営チームの組成を含む当社の起業プロセスを主導。その後も事業会社との提携交渉や知財構築、人材採用などで支援



粘性の高い、合成された長鎖DNA

## 株式会社クリュートメディカルシステムズ

クオリティ・オブ・ビジョンの向上に貢献し、生涯『しっかり見える』を！

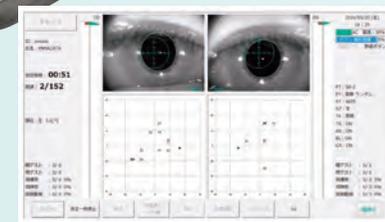
**Q1** 創業者が、前職のHOYA株式会社において立案した新規事業企画の起業化の機会を活用し起業。技術顧問には、東大病院眼科相原教授が就任

**Q2** 光学技術に基づく、モノ（医療機器）づくり

**Q3** 事業計画の強化、資金調達における共同投資家の紹介や助言、事業提携先企業との資本提携の支援



ヘッドマウント型視野計  
アイモ



測定画面

## 五稜化薬株式会社

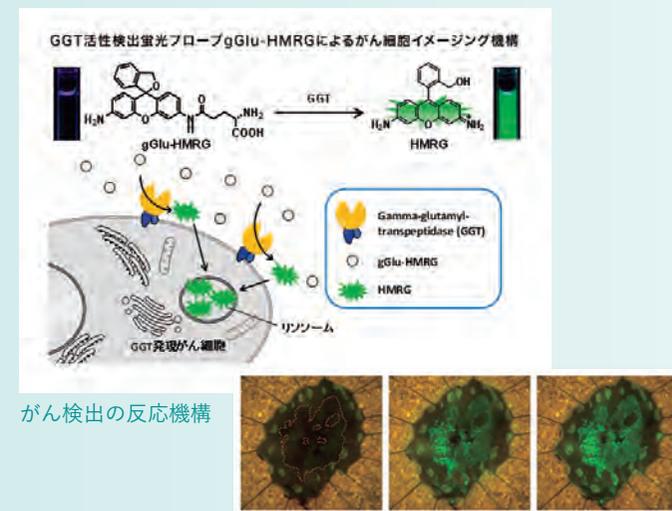
日本発のがん術中迅速診断のためのナビゲーションドラッグの開発



**Q1** ケミカルバイオロジーを駆使して、創薬支援のための研究試薬開発のみならず、蛍光プローブの医療応用を目指し、2010年、北海道大学の知財を活用し札幌にて創業

**Q2** 創業後、東京大学の浦野泰照研究室が開発した蛍光色素や診断薬のプラットフォーム技術を導入することができたこと、並びにそれら色素の効率的な合成能力を自社に保有していること

**Q3** 東京大学への紹介に加えて、事業計画の構築や資金調達や人材紹介などのハンズオン支援



がん検出の反応機構

ヒト食道がんESD摘出検体にEP-HMRGをスプレーする前（左）とスプレーした後5分（中央）、スプレー後10分（右）の色調変化。  
(がん部位は左写真の点線で示した部位。中央付近の緑に光っている部位がEP-HMRGによる蛍光シグナル)

# セレイドセラピューティクス株式会社

ヒト造血幹細胞増幅技術を用いて次世代の細胞治療法の開発を目指す再生医療ベンチャー

## Q1

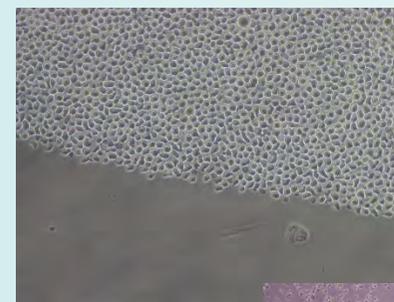
当社創業科学者である筑波大学山崎聡教授、東京大学医科学研究所中内啓光特任教授（スタンフォード大学教授）のチームは、液体のりの成分であるPVAを用いたマウス造血幹細胞の体外における大量増幅技術の確立に成功。その後、ヒトの造血幹細胞においても体外増幅する基盤技術の確立に成功し、臨床応用に向けた道が開けた。今後成長性が期待される細胞治療領域での臨床応用を加速させ、速やかな社会実装を目指すために会社を設立した

## Q2

赤血球・白血球などの血液の源であるヒト造血幹細胞の体外増幅はこれまで困難とされてきた。加えて、従来の細胞増幅法ではアルブミン・サイトカインのような生物由来物質が使用され、再現性が低く品質管理が困難であること、原材料が高コストであるなどの問題もあった。当社技術は、アルブミン・サイトカインフリー培地にてヒト造血幹細胞の体外増幅に成功したことに加え、品質管理が容易でかつ、低コスト化できる点が強みである。また、細胞ソース（骨髄、さい帯血、末梢血）によらず造血幹細胞を増幅可能なことから、様々な疾患への応用が期待できる

## Q3

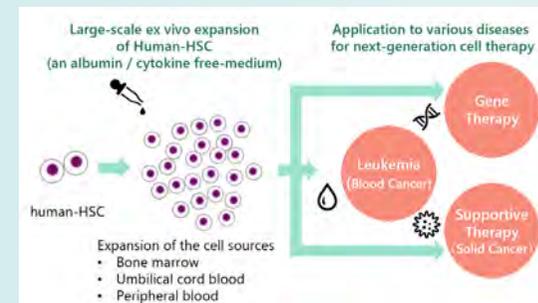
この技術の革新性に早い段階から注目し、シード投資を行うことで事業化を可能にした。資金支援に加え、事業戦略や開発計画の策定支援、人材の探索や紹介、法務・知財面の支援を行ってきた



マウス造血幹細胞の体外での大量増幅に成功



ヒト造血幹細胞の体外での大量増幅に成功



細胞ソースを選ばず増幅可能であり、様々な疾患への応用が期待できる

## ソシウム株式会社

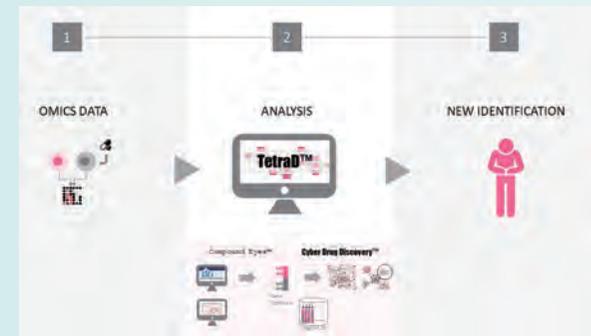
未だ満たされない治療ニーズに応えることで、人びとの健康に貢献



**Q1** 産業技術総合研究所の堀本勝久が開発した独自の遺伝子発現情報解析アルゴリズムを基に、創薬支援プラットフォームの開発・実用化を目指して2017年に創業

**Q2** 従来の解析技術に比べて、生物学的意義に基づく疾患関連遺伝子とそれらが構成するパスウェイを高精度に抽出することで、医薬品の開発成功率を高める

**Q3** 資金調達、事業提携、経営人材のリクルーティングなどのサポート



複数特許から構成されるサービスフロー

## タグシクス・バイオ株式会社

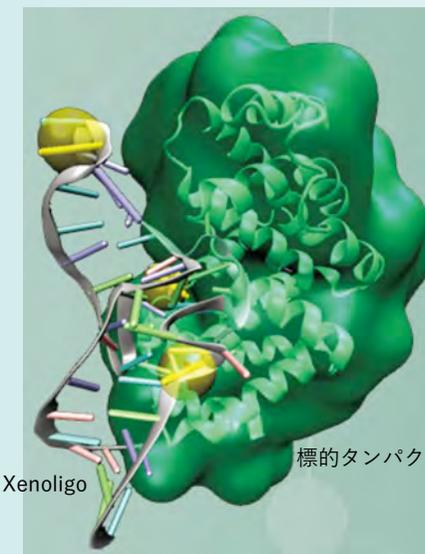
効果が高く安全かつ低コストな核酸医薬品を創生し、医療経済界に改革をもたらす



**Q1** 「人工塩基対技術」の普及と幅広い分野での実用化を目指して、元・理化学研究所合成分子生物学研究チームリーダーの平尾一郎氏が中心となり、2007年に起業。2016年より、創薬開発を主事業として活動開始

**Q2** 独自開発の創薬探索技術を用いて、核酸医薬品 (Xenoligo™) を効率よく創り出すことができる。Xenoligo™の標的物質に対する高い親和性と高い選択性、独自開発の安定化技術が強み

**Q3** 経営体制の構築や資金調達、事業提携などのサポート



疎水性の塩基Dsを含むXenoligo™と、標的タンパク質との結合

# 株式会社糖鎖工學研究所

糖鎖技術を応用するバイオ医薬品のパラダイムシフト

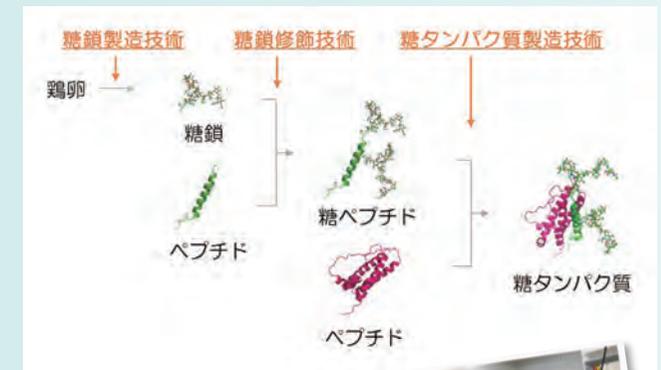
**Q1** 前職の大塚化学株式会社における研究開発や大阪大学梶原康宏教授との共同研究の成果に基づき、高純度ヒト型糖鎖の大量調製実用化と糖鎖応用によるバイオ医薬品への機能性付与の実証を行うために創業

**Q2** 糖ペプチド、糖タンパク等のバイオ医薬創薬の精密化学合成による創薬スクリーニングシステムと原薬の商業生産

**Q3** シリーズA以降の資金調達やガバナンス構築面での支援



GlyTech, Inc.



高品質・低価格な  
糖ペプチド・糖タンパク質  
の生産



ラボ風景

## Tricog Health Pte. Ltd.

効率的・迅速なAI心電図解析により、新興国における心臓病関連の死亡者を減らす

**Q1** CEO自身がインドにおいて長年循環器の医師。多くの患者が適切な治療を受けるまでに時間がかかってしまっていることに強い危機感を覚えて起業

**Q2** アジア・アフリカを中心に400万人以上の医師診断付きのECG診断データを収集。社内外に30名程度の専門医を抱えHP-GP、医療機器メーカーと連携したサービスを展開。集めたデータを機械学習により解析。インドを中心に東南アジアやアフリカで2,500以上の医療拠点にサービスを展開

**Q3** ファイナンス面のアドバイスに加え、医療機器メーカーとの協業や、日本の大学病院による共同研究の促進



AI解析はあくまで医師の診断サポート



機器は後付け可能。  
医療現場の導線は不変



アジア・アフリカの15か国で展開

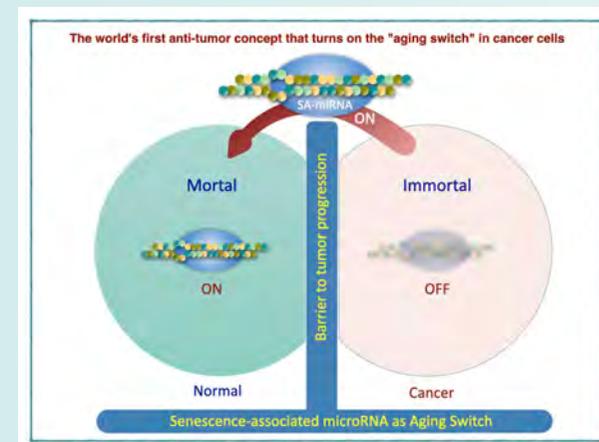
## 株式会社PURMX Therapeutics

天然型マイクロRNA医薬品の開発により難治性疾患患者を救う

**Q1** 広島大学の田原栄俊教授が、老化に関わるマイクロRNAの抗腫瘍効果を発見し、RNAの機能性スクリーニング系を独自に開発。効能の高いマイクロRNAを本格的に臨床開発する段階へと至ったため起業

**Q2** マイクロRNAは多数の遺伝子を標的とした薬効を発揮するため、単一遺伝子を標的とする既存の抗腫瘍薬で課題の薬剤耐性を克服しうる可能性を有する

**Q3** 広島大学における基礎研究の早期段階からのハンズオンでの事業化支援、特に医薬品開発のための知財化や経営人材の採用において貢献



細胞老化マイクロRNAによる抗がん治療

## Bugworks Research, Inc.

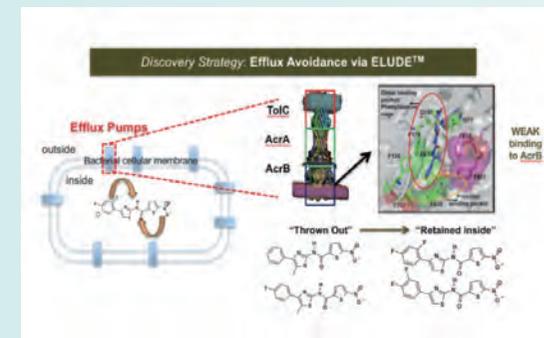
幅広い薬剤耐性菌に効力をもつ新規抗生物質の開発



**Q1** Bugworksは製薬業界での豊富な経験を有するDr.Anand Anankumar、Dr. Santanu Datta、Dr. V Balasubramanianのチームによって、AMRの世界的課題を解決するため、2014年に創業された。2017年7月には権威あるCARB-X grantにアジアで初めて選出された。インドのバンガロールに研究室をもち、創薬分野で総計200年超の豊富な経験を有するPh.D取得の研究者チームを擁するとともに、アメリカ、オーストラリアにもチーム体制を拡大させている

**Q2** Efflux Unbinding (ELUDE™ platform) : Bugworksの開発化合物は細菌外への薬剤排出を回避できる構造をもつため抗菌作用が持続Dual-Target Mechanism : 最も進んでいる開発品はバクテリアのDNA構造に関与するGyraseとTopo IVという2つの酵素に同時に作用可能Broad-spectrum Utility : 薬剤耐性菌として知られるすべての細菌(NDM, KPC, ESBL, MRSA等)に効力を有する

**Q3** 日本との協業機会の提供のための製薬会社への紹介や多剤排出トランスポーターAcrBの結晶構造を解明した村上聡・東京工業大学教授のScientific Advisorとしての紹介に加え、財務管理や資金調達の支援



Proprietary ELUDE™ platform of Bugworks

## bitBiome株式会社

次世代マイクロバイーム解析により、未知の微生物から新産業を創出する



**Q1** 早稲田大学 細川正人准教授が開発したシングルセルゲノミクス技術に基づき、UTECの協力のもと、次世代マイクロバイーム解析を活用した新産業の創出を目指して2018年に起業



シングルセルゲノミクスのワークフロー

**Q2** 世界で初めて微生物に適合したシングルセルゲノミクス技術を確立し、従来解析困難であった微生物ゲノムデータの蓄積が可能となった。従来技術と比較してデータ精度と情報量が圧倒的に優れており、同社しか提供できない共同研究・受託解析サービスを顧客に提供する

**Q3** 創業期からの事業計画、知財戦略、チームビルディングなどのサポート

## Faraday Pharmaceuticals, Inc.

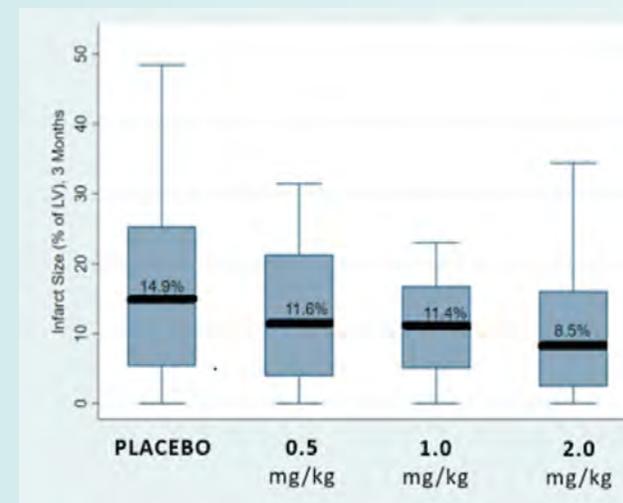
Pioneering the use of specific, reduced forms of natural elements — elemental reducing agents — to improve quality of life after acute, critical illness.



**Q1** Faraday社は、米国Fred Hutchinson Cancer Research CenterのMark Roth博士により開発された技術を用いた新しい治療薬を開発するために2014年に設立された

**Q2** Faraday社が開発するFDY-5301は過酸化水素を触媒作用により分解する能力を持つ。従来技術であるビタミンC等の抗酸化物質とは異なるメカニズムで活性酸素種を分解することができる

**Q3** 日本における産学連携、事業開発及び規制関連業務の支援



第2相試験における梗塞領域拡大抑制効果

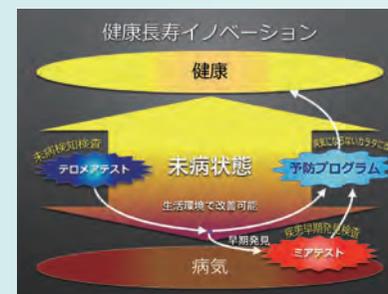
## 株式会社ミルテル

医療イノベーションで「疾患になりにくい社会」を実現し、健康長寿と医療費削減に貢献

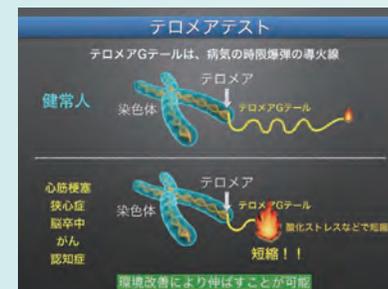
**Q1** 広島大学田原栄俊教授が、一緒に研究した学生を若年性胃がんで亡くし研究の実用化の重要性に気づいたことをきっかけに、自ら開発したGテール長測定技術を未病検知検査へ応用・事業化することを決断。さらにマイクロRNAによる早期発見検査により健康長寿社会に貢献したい

**Q2** 世界唯一のテロメアGテール長測定技術を用いた「未病検知検査」と独自の疾患特異的な体液中マイクロRNAによる「疾患の早期発見検査」を日本で初めて開始

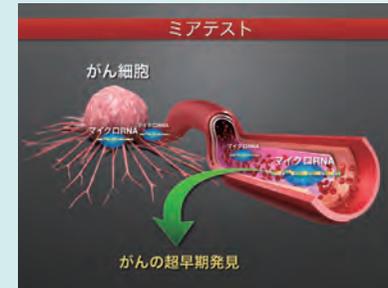
**Q3** 資金調達やガバナンス体制構築面でのサポート



未病を検出して健康長寿をめざす



テロメアテストで加齢疾患のリスクを検出



ミアテストでがん・認知症を早期発見

# 株式会社メトセラ

心不全治療に、革命を起こす

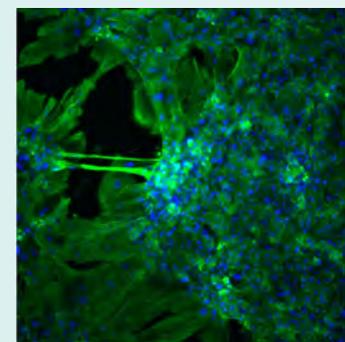
**Q1** 東京女子医大博士課程での岩宮貴紘氏の心臓線維芽細胞に関する研究成果の事業化を目指し、外資系投資銀行やスタートアップで経験を積んだ野上健一氏との2年の助走期間を経て、2016年に二人で共同創業

- Q2**
- 自家の非幹細胞を用いることによる高い有効性と安定して低コストな製造
  - 独自のマッピング及びデリバリーデバイスを用いた心筋組織への正確で安全な投与
  - 動物での高い有効性データに加えて、自社研究によるメカニズムの解明

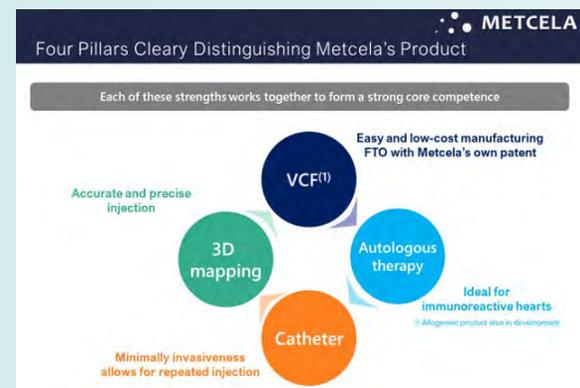
**Q3** IPO含めたファイナンス戦略、人材採用支援等



ヒト心臓線維芽細胞



心筋細胞とVCFを共培養すると密接なネットワークが形成されることを確認



メトセラの4つの強み

# ユナイテッド・イミュニティ株式会社

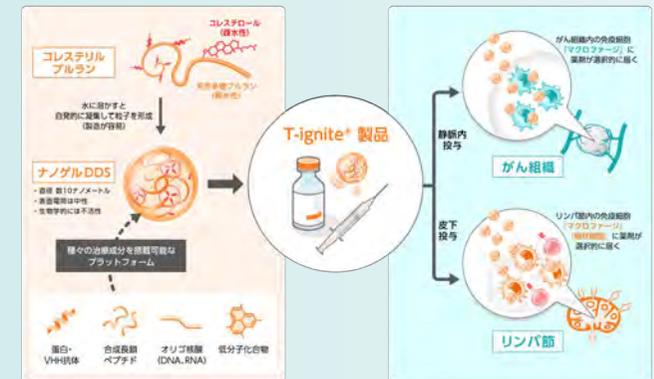
ナノテクノロジーと免疫療法の融合技術で、難治性がんの克服に挑む



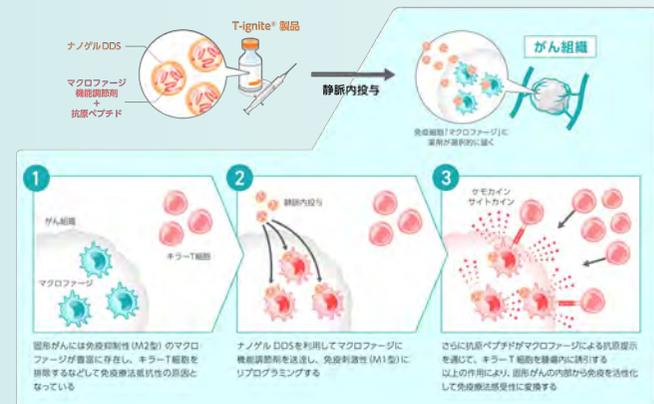
**Q1** 京都大学の秋吉一成教授のナノゲル工学研究成果を活用すべく創業科学者で発明者の原田直純氏が2017年に起業

**Q2** 腫瘍局在のマクロファージ (Tumor Associated Macrophage: TAM) 選択的な薬剤のデリバリーと、搭載する薬剤の拡張性

**Q3** 研究開発計画への助言、コーポレートガバナンスの整備、経営人材の採用といったハンズオン支援



T-ignite®技術の概要



静脈注射によるマクロファージターゲティング

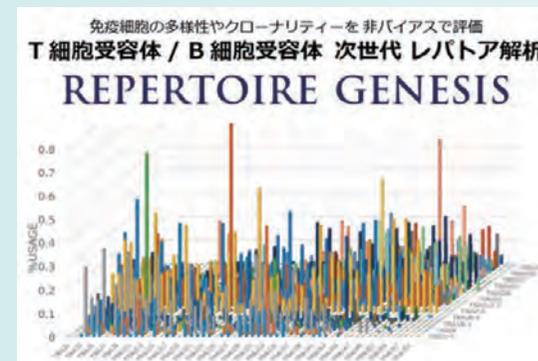
# Repertoire Genesis株式会社

次世代の免疫多様性解析を基盤にし、診断／治療法開発に革新をもたらす

**Q1** 元塩野義製薬・相模原病院の鈴木隆二博士が開発した非バイアス遺伝子増幅技術の次世代シーケンサーへの応用と専用バイオインフォマティクスソフトウェアの開発によって、免疫細胞受容体（TCR／BCR）における高速高精度な次世代レパトア解析技術が確立されていた中、UTECの協力を得たこと

**Q2** 免疫の多様性を世界で唯一、抗原と抗体の両側面から正確かつ網羅的に解析できる技術を有している。生体内で起きている免疫応答を詳細に把握することができるため、免疫系に作用する治療薬および診断薬の開発を飛躍的に効率化することが可能である。東京大学医学部附属病院やカリフォルニア大学サンディエゴ校をはじめとする国内外の多数の研究機関や製薬会社等で解析サービスが利用されており、共同研究等により更なる解析の高精細化にも努めている

**Q3** 創業期以降の資金調達に始まり、コーポレートガバナンスの構築、経営人材の採用、IPOやM&Aによるエグジットプロセスの遂行に至るまで貢献



免疫細胞受容体TCR／BCRレパトア解析

完全個別化医療を支えるがん細胞遺伝子変異・抗原探索システム  
ネオエピトープ解析  
NEOEPITOPE GENESIS

PeptID	Sequence		IC50		IFN $\gamma$ secretion	
	MT	WT	MT	WT	ELISPOT	Intra
14	RTFYSSAL	RTFYSSAL	0.3	1.0	**	**
42	QLLEPAISFL	QLLEPAISFL	1.1	1.4	*	**
27	FTYSALKV	FTYSALKV	1.4	12.0	*	**
12	NLYKLLVF	NLYKLLVF	2.3	38.5	+	—
18	VLIINDNEPV	VLIINDNEPV	2.4	1.7	*	—
42	VQYSSPALPT	VQYSSPALPT	3.2	9.7	**	*
21	NISSAINTV	NISSAINTV	3.9	9.2	+	+
41	KVLQLEPEI	KVLQLEPEI	4.1	3.0	+	**
26	ALVFFERS	ALVFFERS	4.1	5.6	—	**

がん細胞遺伝子変異・抗原探索システム  
ネオエピトープ解析

## 株式会社アイデミー

AIの内製化支援を行うリーディングカンパニーへ

**Q1** 代表の石川聡彦は東京大学工学部在籍時に機械学習の応用分野を研究。AIプログラミングに取り組む敷居の高さを感じ、今日不足している人工知能エンジニア(人工知能を使えるデータサイエンティスト等)を養成するため、「Aidemy」のサービス開発に取り組んだ

**Q2** 法人及び個人向けにAIプログラミング特化型養成プラットフォーム「Aidemy」を2017年12月に開始するとともに、法人向けにAI組織内製化やAIシステム運用のための支援事業を提供。強みは、環境構築不要ですぐに学習を始められるUX、2022年3月現在までにユーザー累計15万人以上となったAI研修サービスとして多くのユーザーを育成してきた実績、顧客企業がAIを用いたデータ分析を社内で行えるよう組織設計からAIの実運用までサポートしてきたノウハウの蓄積

**Q3** シードステージからのファイナンス、Aidemyの事業計画や経営戦略の策定、経営幹部チームビルディング、コーポレートガバナンスの構築、顧客企業紹介など



オンラインコンテンツ特有の学びやすさ



AI組織内製化やAIシステム運用の支援



AIの実運用を簡潔化するプラットフォーム「Aidemy Technology」

# 株式会社アダコテック

モノづくりの進化と革新を支える



**Q1** 国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）の革新的な技術「高次局所自己相関(HLAC)特徴抽出法を用いた適応学習型認識方式」を中核とした異常検知AIの実用化を目指して2012年に設立



少量のデータでも異常をほぼ100%検出

**Q2** 少量の教師データでも異常をほぼ100%検出できる異常検知AIが強み。汎用PCでもミリ秒単位で高速に結果を出すことができ、異常の原因もブラックボックス化せず説明が可能である点も評価され、特にタクトタイムが厳しく説明責任が問われる難易度が高い検査現場への適用が進んでいる



自動車、電子部品、半導体業界を中心に生産ラインへの導入事例多数

**Q3** リードインベスターとしてシリーズA資金調達を主導。事業戦略、経営人材採用、事業開発等の経営支援

# 株式会社ALGO ARTIS

電力や物流会社に向けたインフラ向けAIサービス事業

**Q1** DeNA内における新規事業として2017年から事業化の検討が開始。2021年に本事業をスピアウトする形で創業

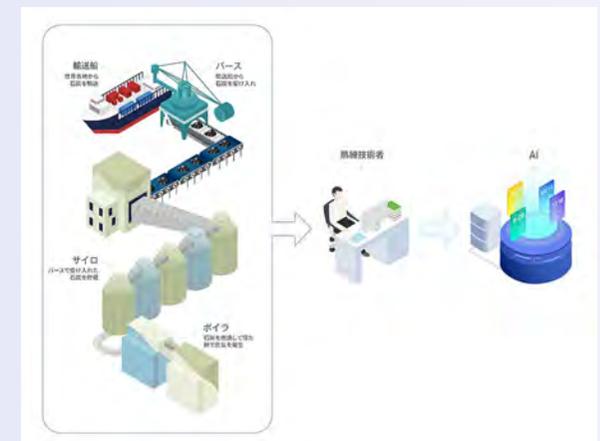
**Q2** ヒューリスティックな解法を自在に扱う能力を持ち、顧客とも話ができる国内でも非常に希少なエンジニアチーム。

機械学習（教師あり学習）/強化学習や数理最適ソルバ（線形計画法など）を用いたアプローチでは困難な、現実の複雑な運用を最適化するアルゴリズム。アルゴリズム、フロントエンドを結びつけ、セキュリティも踏まえてバックエンド面からフルスタックで対応でき、クラウドをベースとして実装面も柔軟に対応可能なシステム開発力及び実運用レベルの提供

**Q3** リードインベスターとしてシリーズA資金調達を主導。事業戦略、人材採用、事業開発等の経営支援



石炭火力発電所（資料提供：関西電力株式会社）



AIによるサプライチェーンの最適化

## 株式会社Alumnote

大学・企業向け卒業生ネットワークの構築支援

**Q1** 東京大学法学部在学中の2021年に起業家甲子園にて総務大臣賞を受賞した中沢冬芽氏が、日本の大学の国際競争力の低下という社会的課題を克服するために大学へ資金が還流する仕組みをつくるべく起業

**Q2** 従来のSNSでは困難だった、大学が管理することが容易な卒業生のデータプラットフォームの構築を可能とする「Alumnote Community」を開発。

コミュニティ運営を効率化するツール、卒業生の行動トラッキングや可視化を可能にする機能により、アルムナイコミュニティの活性化を目指す。

イベントに加えて、寄付やクラウドファンディング、ジョブボードの掲載も可能、日本のドネーションマーケティングの高度化を目指す

**Q3** 資金調達やチーム組成などシード期企業における経営全般の助言、UTECによる東京大学コミュニティへの寄附プロジェクトの業務委託



リリースされたAlumnote Community

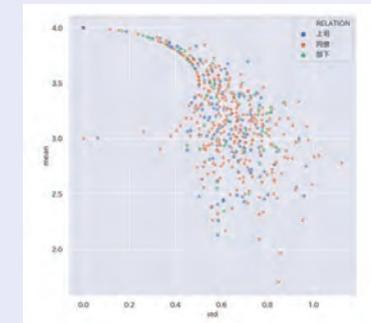


# Institution for a Global Society株式会社

最先端技術で人材評価・教育を行うPeople Analytics × Ed Tech企業



**Q1** 創業者の福原正大博士が、日本企業の人材の共創・競争力が世界で低下している原因が、科学的でない教育・人事領域にあることに気づく。世界最大の投資企業でクウォンツアナリストと経営を担った経験と研究人脈（東京大学等との共同研究）が起点となっている



企業向け気質・コンピテンシーAI測定ツール「GROW360」

**Q2** 国際機関・政府・教育委員会・学校・大企業といった幅広い顧客に対し、小学生からシニアまでのビッグデータを活用し、世界で幸せの連鎖を引き起こす人材評価・教育を行うPeople Analytics × Ed Tech 企業



ゲーム形式の気質測定ツール「IAT」  
指の動きで潜在的な気質傾向を測定することが可能

**Q3** 法人営業の戦略に関するアドバイス、政府・企業・大学とのネットワーク提供、ファイナンス支援まで、幅広い経営支援をいただけるパートナー

## VividQ Limited

3Dホログラフィックディスプレイのマスへの普及を目指す

### Q1

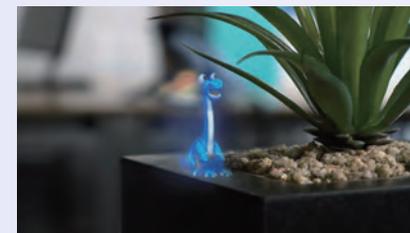
前身はデータ圧縮のスタートアップだったが、2017年に、コアとなっていたホログラフィ技術を転用し、ケンブリッジ大学 Centre for Advanced Photonics の Tim Wilkinson 教授の支援も得て、3Dホログラフィックディスプレイのコアソフトウェア開発事業としてリスタートした

### Q2

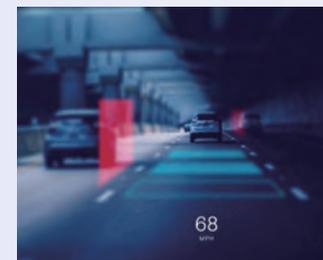
- ①画質・計算速度・スケーラビリティを全て両立したホログラム計算・光学的収差の計算的補正技術およびその高速実装
- ②ホログラフィックディスプレイの構成に必要な各パーツのメジャーなサプライヤとのパートナーシップ

### Q3

Seedラウンドの共同リード・Seed-2ラウンドの支援、APAC組織構築、日本市場におけるビジネスディベロップメント、日本のアカデミアとの関係構築



VividQのホログラフィックディスプレイは「深さ」を表現可能



アプリケーションの1つであるARHUDは、実世界のオブジェクトに合った形で情報を重畳



ケンブリッジ大学やオックスフォード大学などのPhD人材を多数擁するVividQのチーム

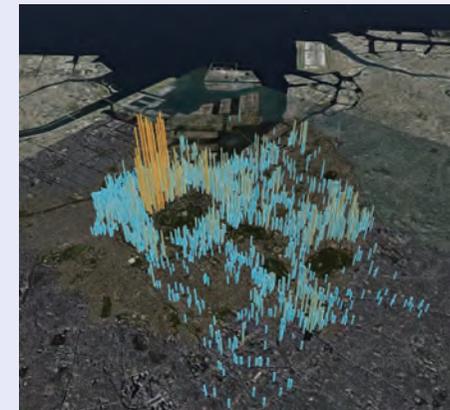
# 株式会社estie

## UPDATE REAL ESTATE

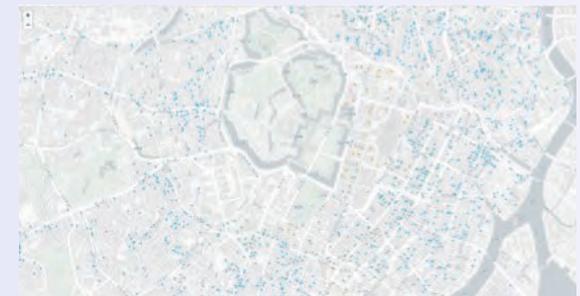
**Q1** 創業者の平井瑛氏が三菱地所にて海外不動産投資・オフィス賃貸営業を行うなかで、個別不動産のパフォーマンスに関する統計解析の手法を構築・実践。プロでも十分な論理的根拠に基づく客観的意思決定が行われていない、ましてテナントは不十分な情報の中で意思決定を強いられている不動産業界の現実に課題意識をもって起業

**Q2** 賃料をはじめとした不動産にかかる定量指標の推定アルゴリズムや物件のリコメンドアルゴリズムとそれを支える不動産業界の知見。アルゴリズムは、データ収集、理解、補完、整形までの一連の過程において事業用不動産事業の知見を活かし、独自に構築した市場最大級の統合データベースによるもので模倣が困難

**Q3** シリーズA以降のリードインベスターとして、企業価値向上に向けた戦略・オペレーション・セールス&マーケティング、人材採用を支援



個別オフィスビル賃料を可視化するアルゴリズム



地図上に不動産統合データベースを構築

## 株式会社ELEMENTS

コンピュータビジョン x IoTセンサーで得られる情報と分析により、日常生活をより快適にするための研究、製品・サービスの開発

**Q1** 慶應義塾大学法学部を卒業し、統計数理を専門とする久田康弘が、法医学の統計学による鑑定技術とコンピュータビジョニングにより技術開発に着手。現在、慶應義塾大学の青木研究室と共同研究を実施している

**Q2** 生体情報のインデックス化、深層学習による生体情報の高速検索、及び独自開発の認証システムをコア技術として保有。IoP (Internet of Person)

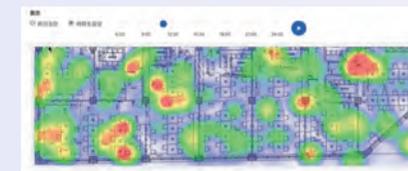
**Q3** リクルーティングのサポート、事業計画の立案サポートに加えて、セールスサポート、ファイナンス面のリード、政府機関への提言。フィンテック分野、リテール分野、不動産分野の各事業の大手企業への紹介



SYMBOL 3Dスキャニングサービスと人体の体形(型)データに特化したAIエンジンを提供



eKYC 生体認証クラウドで培った精度の高い画像照合



MYCITY画像認識などのセンシング技術を活用し、都市と個人をつなぐプラットフォームを構築

## 株式会社お金のデザイン

テクノロジーの力で金融サービスを民主化し、人とお金の新しい関係を創る



### Q1

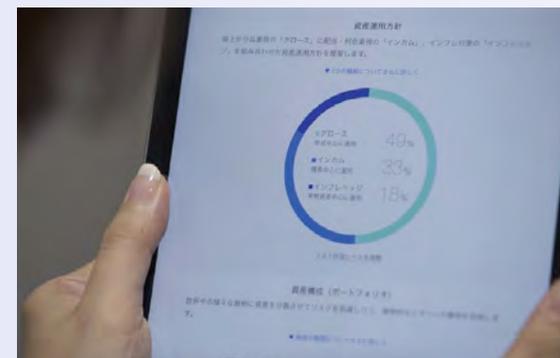
円安・インフレ・超低金利などの市場環境の変化によって、円で資産を持つておくことが必ずしも最適な資産保全方法とは言えない時代に日本が突入しているなか、京都大学加藤康之教授と共同開発した投資運用エンジンを活用して適切なアルゴリズムを提供することで、一般個人に対し、プロのアセットマネージャーが富裕層向けに提供しているものと同程度の高度なアルゴリズムによるグローバル分散投資を行うことを可能にしたいと考えたため



THEO サービスストップ画面

### Q2

アカデミアと投資運用実務の双方に根差した運用チーム、金融規制業種における経験を有する金融チーム、良質な顧客体験を追求するインターネット業界出身者の組み合わせ



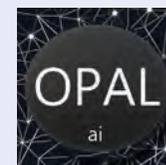
一人ひとりにあった資産運用プランを提案  
その数は231通り

### Q3

投資運用の信用面の補完、ガバナンス整備やIPOに向けた助言

## OPALai Pte. Ltd.

先物の価格、ヘッジ、トレーディング戦略にフォーカスしたAIドリブンのデジタルプラットフォーム



### Q1

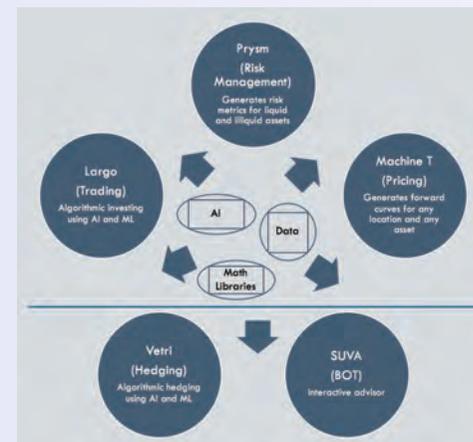
OPALaiは2017年にハーバード大卒で先物デリバティブの分野で20年以上の経験（7か国：Deutsche Bank, Citigroup, Rabobank、ADM）があるPravin Chandrasekaranによって創業、EDB(Economic Development Board)による補助金を基に、シンガポールにおいて設立

### Q2

OPALaiは機械学習及びディープラーニングによる統計的手法を組み合わせながら、先物価格に関連する400-500の特徴点を分析、歴史的に株式を中心に利用されていたContinuous-Time Finance (CTF) 等の資産価格評価の技術在先物のプライシングに応用。OPALaiは世界各地において、10以上のグローバルなクライアントを獲得しており、セクターはエネルギー、金属、農作物等多岐に渡る

### Q3

シードラウンドにおける唯一の投資家として、日本における商社、金融機関、製造業等の顧客開拓や日本のアカデミアとの共同研究機会を提供するとともに、日本マネージャーの採用を支援。



OPALai's Product Offerings for Pricing, Hedging and Trading



OPALai's Product Performance (for Illustration purpose) 42

# 株式会社obniz

Make Everything Online

## Q1

従来までのマイコンボードを用いたIoTでは、開発環境の構築や特殊な開発言語、ソフトウェアだけでなくハードウェアの知識も必要となる等様々なハードルが存在した。誰もが自由にIoT電子工作を可能な世界を実現すべくobnizを開発した

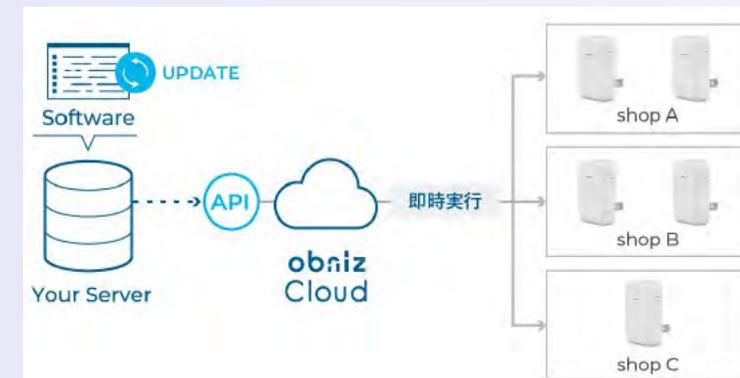
## Q2

ファームウェアレス技術により開発と実装をクラウドに一元化したことで開発の難易度が高いIoT開発の敷居を下げ、かつ開発工数を削減したことに加え、メンテナンスや機能の拡張を遠隔から一元的に行えることが強み

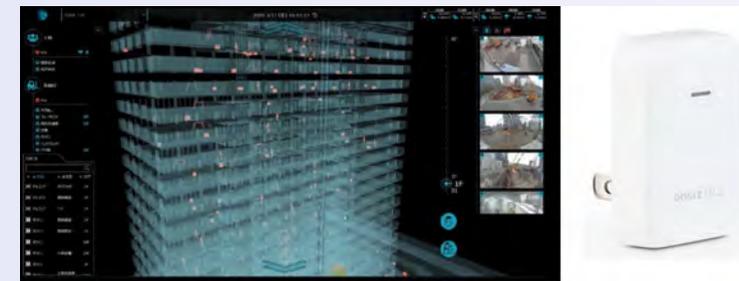
## Q3

資金調達や販売営業戦略に関するアドバイス、人材採用支援、法人顧客の紹介、法務面の支援等

# obniz



複数のエッジデバイスとの連携も1コードで実現



建設現場管理IoTを実現した顧客事例

## Obviously AI, Inc.

非エンジニア人材であるビジネスマンが、ノーコードプラットフォームを使って包括的な機械学習を行えるようにする

**Q1** 共同設立者のNirmanとTapojitは、ボストンのHampshire Collegeで同級生であり、コンピュータサイエンスの学士号を取得。CEOのNirmanは、前職のスタートアップをインテルに売却するなど、起業家としての経験を持っており、CTOのTapojitは、MITでAI/MLの研究に従事。Obviously AIは、サンフランシスコのベイエリアに10人のチームを擁する

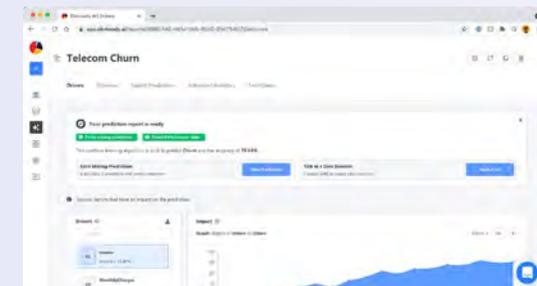
**Q2** 優れた性能を持つMLモデルの構築とトレーニングを1分以内に可能にする「Edge-sharp AutoML」という独自の技術を構築。本製品は、クラウドサービスやデータベースとのシームレスなワークフローの統合に加え、エンド・ツー・エンドでコードレスなユーザー体験を提供することで、アナリストやBI専門家のニーズに答えている

**Q3** クライアントとGo-to-marketのパートナーシップを促進することで、Obviously AIの日本/APACへの進出をサポート。採用、製品戦略、成長戦略のためのハンズオンサポートも実施

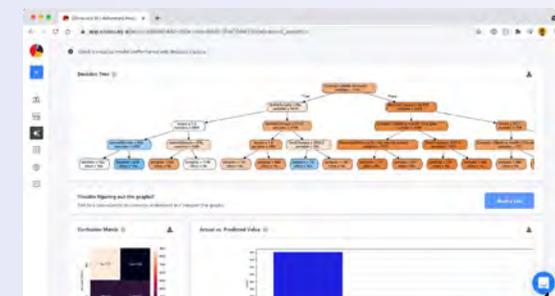
obviously.ai



Obviously AIの共同設立者であるNirmanとTapojitは、インドとバングラデシュから米国に移住



アップロードされたデータからAutoML技術を用いて作成された予測レポート



説明可能なAIによるモデル性能の可視化

## 株式会社Capex

人間に寄り添うバーチャルヒューマン



**Q1** bitFlyerでCOOを務めた小亀俊太郎CEOが、VR/ARや自然言語処理といった新技術を用いた社会課題解決を志向して起業

**Q2** アバターのUI/UXから、感情データを踏まえた独自アルゴリズムの対話エンジンまで、トータルで人間への寄り添いを高めたインタラクション体験の設計

**Q3** シードラウンドからのリード投資、経営戦略全般への助言、採用支援、プロダクトフィードバック、B2B展開支援



iOS/Android向けにローンチした『PATONA』。ここでのユーザーとの直接のインタラクションを起点として、対話体験をブラッシュアップし、バーチャルヒューマンへと展開

## 株式会社コンシェルジュ

対話の自動化で世界を変える

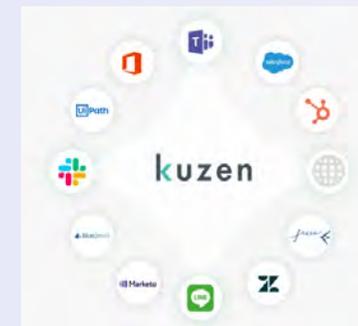
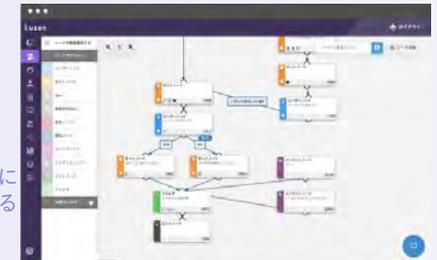
**Q1** 東京大学アントレプレナー道場、投資ファンド、ITコンサルティングでの経験から、IT分野でグローバルに活躍するスタートアップを日本から生み出すという決意のもと、チャットという通信手段の変化のタイミングを捉えて、東大大学院修了の太田 匠吾氏と白倉弘太氏の2名で創業

**Q2** 150社を超える大企業への導入実績を持つこと、エンタープライズ顧客が必要とする多種多様な機能をノーコードで提供する唯一のチャットボットツールや特許取得済みの独自のシナリオ作成アルゴリズムを有すること、顧客の用途に合わせて様々な対話インターフェースを構築可能であること、外部システムと柔軟に連携できることなどが強み

**Q3** ファイナンス戦略やIPO準備に関する助言、採用支援、組織構築

## Concierge U

「kuzen」エディター画面  
ノーコードでスピーディーに  
チャットボットが構築できる



「kuzen」のIntegration Hub概念図  
多様な対話インターフェース、  
SaaSとの連携を実現



エンドユーザーのチャットボット  
利用イメージ

## シーオス株式会社

ロジスティクス領域で、人間とAI/ロボットが協働する社会を実現



**Q1** 創業者の松島聡氏が、外資系コンサルティング時代にロジスティクスのグローバル・タスクフォースでのプロジェクトを経験してロジスティクスの分析・設計への見識を深め、人間とAI/ロボットが協働する社会の実現を目指して創業



RaaS用自動運搬車

**Q2** 医療、小売、製造等、多業界の物流マネジメントを戦略レイヤーから現場受託まで手がけてきたことから、物流IT化における課題解決のための技術、その機能要件、市場の受容性を熟知していること



ウェアハウスマネジメントシステム

**Q3** 資金調達、ガバナンス構築、資本業務提携面での支援



デリバリマネジメントシステム

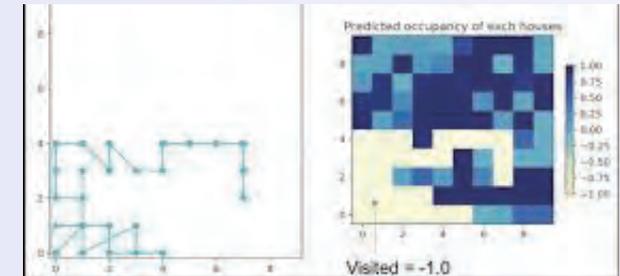
## 株式会社JDSC

インパクトを重視したデータ活用サービス

**Q1** 加藤エルテス聡志氏が、P&Gやマッキンゼーで、データ活用が企業プロセスや社会構造を根本的に変えうると実感したことから2014年に社団法人を設立。業績拡大に伴い株式会社化

**Q2** 東京大学の越塚研究室(情報学環、IoT・データ活用)、田中研究室(システム創生、AI・ブロックチェーン)などのアカデミアの知見と、ビジネス側の実務の連携を行えるメンバー。大学院生のエンジニアメンバーも多数在籍

**Q3** 創業支援。戦略からオペレーションに至るビジネスモデル実現支援、企業の全社的な改革・デジタル化への意思決定と舵取りを行える経営層へのアクセス、東京大学研究者への紹介、ファイナンス面でのサポート全般



宅配で不在配達先を予測してルートを最適化



図面情報の画像読み取りと加工の自動化

## スタートバーン株式会社

アートが民主化され、文化のみならず財としても身近で重要な意味を持つ社会の実現

### Q1

現代美術家であり、東大大学院学際情報学府出身である代表の施井泰平が、技術革新や社会変化のダイナミズムに反してインフラ整備が遅れているアート業界の現状を危惧し、テクノロジーとアートの架け橋となるべく起業

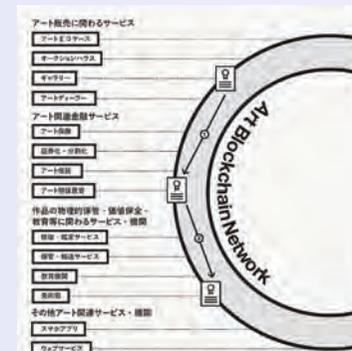
### Q2

日米で関連特許を取得していることや、ターゲット層にアプローチしているプレイヤーが少ないこともさることながら、業界事情をよく知り、能動的な革新を提案できる立場にいること。Art Blockchain Networkやアート関連のNFTマーケットプレイスをはじめとした活動によるアート×ブロックチェーンの日本における先導的企業としての認知度の高さ。また、長く自社でブロックチェーンアプリケーション開発を行ってきたことによる設計・開発の知見

### Q3

シード段階に始まりシリーズA以降もリードインベスターとして、資金調達、人材採用、資本業務提携、ガバナンス整備などでの助言を行ってきた

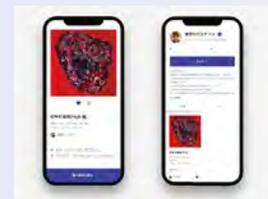
startbahn



開発を主導するブロックチェーンを活用したアートのインフラ  
"Art Blockchain Network (ABN)"



ABNを活用し、ブロックチェーン証明書と共に日本の工芸作品を販売する、丹青社との共同プロジェクト "B-OWND"



ABNを活用し、アーティストやギャラリーが作品販売・証明書発行を行える自社サービス "startbahn.org"

# スタジオアンビルト株式会社

## デザインを基軸にした建築設計DX

### Q1

名古屋工業大学で建築を学んだあと、IT業界で経験を積んだ森下敬司氏と山川紋氏の創業者2人が、ITを使って建築設計の業界を革新することを目指し2016年に創業。祖業の建築専門クラウドソーシング「Studio Unbuilt」を運営する中で見出した、注文住宅領域でのペインを解決するため、スマホで間取りの設計を依頼できる「madree」を立ち上げ

### Q2

創業チームの建築設計業界へのパッションと経験、国内最大級の建築特化型クラウドソーシング運営による建築専門家へのアクセス、「madree」の新しい事業モデルにより継続的に蓄積される設計データ

### Q3

採用支援、ファイナンス戦略、事業開発



スマホで間取りを依頼できる「madree」



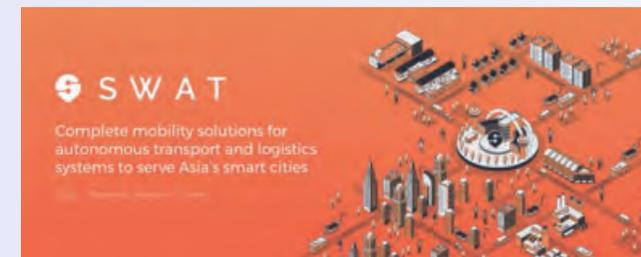
建築専門クラウドソーシング「STUDIO UNBUILT」

# SWAT Mobility Pte. Ltd.

バス向けのオンデマンドダイナミックルーティング技術



**Q1** オンデマンドバスサービスを通じて交通渋滞の解消や、通勤通学者に対しより便利な交通手段の提供、そして輸送システムにかかるリソースの最適化を実現し、社会にインパクトを与えることをビジョンにシンガポールにて2015年に設立



**Q2** 大型自動車において、リアルタイムに乗客のニーズに応え最適ルートを生成する高性能な機械学習技術。Li & Lim's industry benchmarkのインテリジェント輸送部門においてランキングトップ。  
旅客輸送事業者に対しては、交通渋滞への対処や自動車台数の減少など、輸送効率化に貢献。乗客は、より目的地に近いところで乗降が可能となる



**Q3** ファイナンス、日本マネージャーを含むリクルーティング、日本進出含むマーケティング等経営戦略全般

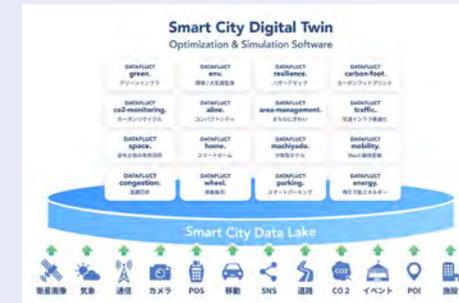
# 株式会社DATAFLUCT

データハンドリングと自動機械学習をコアとした「データ利活用の民主化」

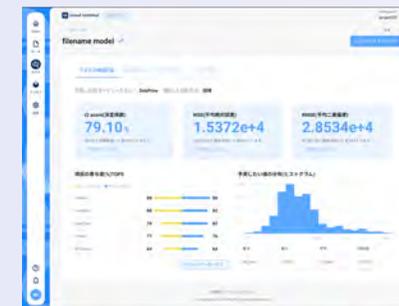
**Q1** 13年以上にわたり日本経済新聞社やリクルート等の企業で30以上の新規事業立ち上げに携わり続け、宇宙航空研究開発機構（JAXA）の招聘職員も務める久米村CEOが、データサイエンスを用いた新規事業に特化するために2019年に創業

**Q2** JAXAで培った地理情報と画像解析の連携、データサイエンティストの属人性を排した最適モデルを探索する自動機械学習技術、高速に新規アプリケーションを立ち上げることを可能にするクラウド開発基盤

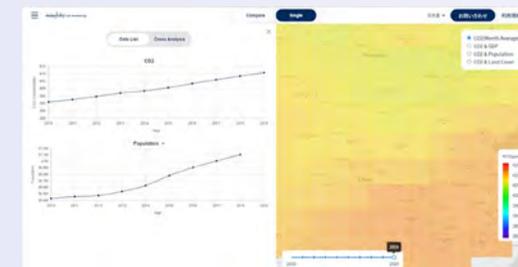
**Q3** シリーズA以降のリードインベスターとしてのファイナンス支援、プロダクト化等経営戦略全般、アカデミア連携、人材紹介、IPO準備



都市の課題をデータで解決し、サステナブルな（持続可能な）都市を実現することをテーマに開発を進める『DATAFLUCT smartcity series』



ノーコードで機械学習モデルを構築できるマルチクラウド環境のAutoMLツール『DATAFLUCT cloud terminal』



衛星データを活用し、大気中の二酸化炭素の濃度と経済活動を可視化する環境モニタリングサービス『DATAFLUCT co2-monitoring』

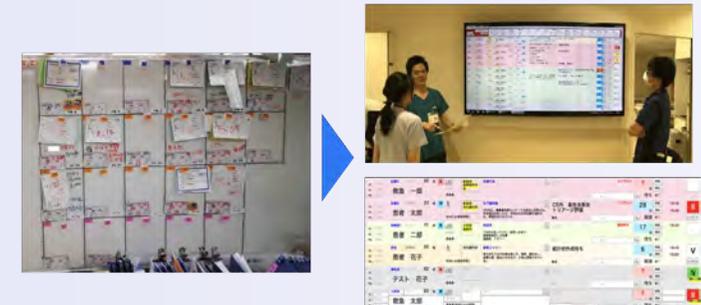
# TXP Medical株式会社

## 医療データで命を救う

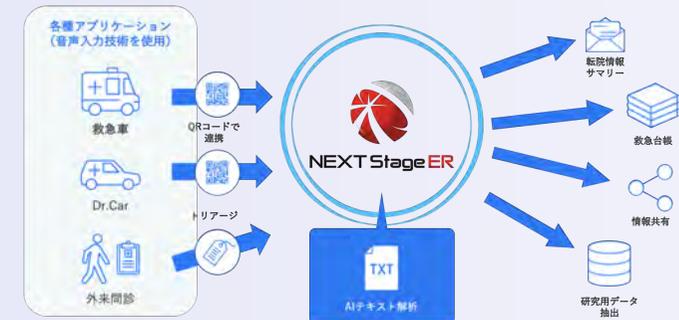
**Q1** 現役救急医である代表の園生智弘氏が救急医療の現場で感じた課題を解決するためのソフトウェア開発を、当時勤務していた日立総合病院において独自に進め、2017年に日本全国の病院に展開すべく起業

**Q2** 医療現場のニーズの深い理解とそれに基づく製品やアルゴリズム開発、多数の大学病院を含む各地域の基幹病院との強いネットワーク、ベンチャー企業でありながら国内外の学会・論文に発信し続ける研究チームが競争優位性

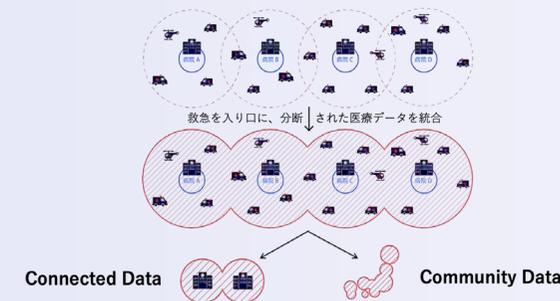
**Q3** シリーズA以降のリードインベスターとして、企業価値向上に向けた戦略、人材採用等で支援



ホワイトボードから、システムでの患者情報の管理へ



救命センタークラスの大病院救急外来に特化したシステム「NEXT Stage ER」



53  
社会と向き合う救急のデータを集めた日本の縮図とも言える医療データベースで社会を変える

## 株式会社ティアフォー

完全自動運転のプラットフォーム及びサービス事業による  
高付加価値な移動時空間の創出

**Q1** 名古屋大学等で開発されたオープンソースの自動運転ソフトウェア「Autoware」を使った完全自動運転システム開発の為、加藤真平准教授（当時名古屋大学、現東京大学情報理工学系研究科准教授）を中心に2015年12月に創業

**Q2** 「Autoware」を軸に、完全自動運転のプラットフォーム事業と、完全自動運転によって解放される時間と空間を活用したサービス事業を展開。2017年12月に日本で初めて一般公道におけるレベル4（無人運転）の自動運転に成功

**Q3** 経営人材の紹介、資本業務提携の助言等



Logiee\_PV1



Milee\_PV2

Minivan\_PV3



# Tellus You Care, Inc.

最先端の技術でエルダー・ケア（高齢者介護）を革新的に変える

**Q1** 創業者2名の個々の介護の経験から、介護テック、特に睡眠関連の事業機会を見出す

**Q2** スタンフォード卒でグーグルやアップル、NASAなどを経験したチームメンバーが最新の技術を融合したソリューションを開発

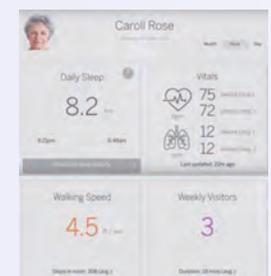
**Q3** 日本参入、チーム組成、事業開発での支援。日本は世界最大の高齢者介護市場の一つ



創業チーム



デバイス



ダッシュボード

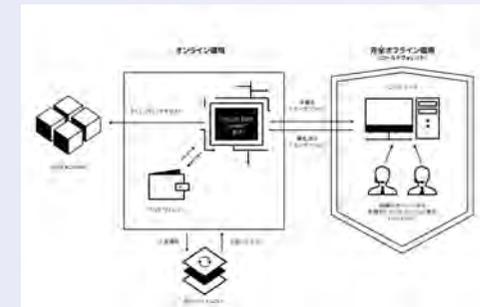
# 株式会社HashPort

ブロックチェーンテクノロジーで日本を革新する

**Q1** ポストンコンサルティンググループのデジタル事業開発部門であるBCG Digital Venturesにて、東京オフィス最年少のVenture Architect（投資・事業開発担当者）として日本及び中国でのプロジェクトに従事した吉田世博氏が、ブロックチェーン技術の興隆に伴い2018年7月に起業

**Q2** 日本初のIEO（Initial Exchange Offering）を2021年に実現させた「トークン」分野における高い専門性と暗号資産ウォレット管理システムにおける国内最高セキュリティ水準。NFT特化ブロックチェーンとして独自のデジタルトークン「パレットトークン（PaletteToken、PLT）」を発行するだけでなく、ブロックチェーン領域のコンサルティング・製品開発、及び海外ブロックチェーンプロジェクトの日本展開支援に従事し知見と技術を蓄積

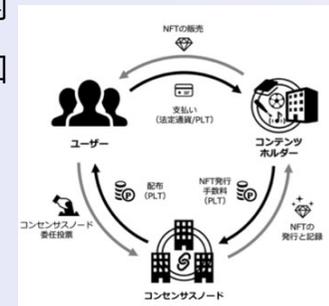
**Q3** 経営管理体制及びガバナンス、CXO人材採用、IPO準備等における支援



暗号資産交換業者向け暗号資産ウォレット管理システム



異なるブロックチェーン同士を接続するクロスチェーン技術で日本発コンテンツの更なる発展を目指す



デジタルコンテンツを発行・管理・流通させるためのNFT特化ブロックチェーンプラットフォーム「パレット (Palette)」

## 株式会社Finatextホールディングス

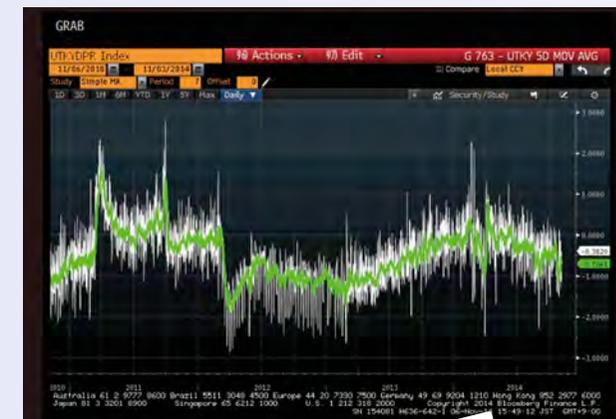
金融を“サービス”として再発明する



**Q1** 金融機関向けのサービス実績や、東京大学渡辺努教授の研究成果を活用し、これまでにないリアルタイム性の高い情報を、ビッグデータを用いて開発・提供することを目指して起業

**Q2** 金融に関する豊富な知識・経験を基盤に、誰にでも分かりやすいUI/UXに落としこみ、非常に短い期間で開発を行う技術力。総務省や日銀出身者、我が国を代表する統計学・経済学の研究開発陣によるビッグデータを活用した経済統計開発技術

**Q3** 事業計画立案やガバナンスなどの経営レベル、ヒューマンリソース含む現場レベル全般のハンズオン支援



日経CPI Now



代表取締役社長の林良太（左）  
と共同創業者の渡辺努（右）

## PaylessGate株式会社

リアルの世界に究極の個人認証を提供し、シームレスな体験で世界を幸せに

**Q1** 人の生きる意味は「次世代を創る」ことであり、特に次世代に残すべきものの1つが「シームレスな社会」だと考えた創業者の足立安比古氏が、個人認証の精度を非常に高めることによりリアル世界における個人認証の課題を解決することでシームレスな社会を創るべく、起業

**Q2** 認証は記憶情報、物理情報、生体情報の3つの組合せからなるが、リアル世界では、記憶確認や物の取出しに時間を要し、一度の生体情報の流出で本人が利用できなくなる、といった課題がある。同社の保有する「高速高精度な位置測定」と「決済レベルの認証」の特許技術の応用により、スマートフォンをポケットやカバンに入れておくだけで、ハンズフリーであらゆる認証や決済が可能となる

**Q3** ファイナンス、経営幹部の採用、開発・営業人材の採用、経営管理体制構築、UTEC Venture Partnerの派遣などの支援

PaylessGate  
Create next generation



# 株式会社レトリバ

最先端の自然言語処理技術で、人の業務を支援するソフトウェアを作りたい



**Q1** AI 技術の自然言語処理や機械学習、深層学習に大きな可能性を感じ、株式会社Preferred Infrastructureから事業譲渡を受けて独立。同社で製造事業部長を務めた河原一哉氏、同社出身で東京大学情報理工修士の西鳥羽二郎氏、他4名で創業

**Q2** 自然言語処理や機械学習、深層学習への深い知識やノウハウを活かし、顧客の課題を解決するために最適な手法をより使いやすく製品にしている点

**Q3** 経営戦略策定、ガバナンス、リクルーティング、資金調達、顧客等の紹介及びパートナー先の開拓等への支援



Answer Finder精度評価画面



VoC Analyzer分析画面

## Locix Inc.

革命的な無線センサー製品とサービスを開発し、スマート・ホーム及び商用アプリケーション向けに展開する

**Q1** スマート・ホーム及び商用向けの究極の無線センサー製品とサービスを実現すべく、シリアル・テクノロジー起業家のVik Pavateと、革命的な無線センサー技術を持つ米カリフォルニア大学バークレー校のVivek Subramanian教授、Elad Alon准教授によって設立

**Q2** 超低消費電力技術、無線技術、高度なセンサー技術、電力伝送技術、データ・サイエンスを駆使した独自のプラットフォーム技術により、ハイパフォーマンスで設置場所の自由度の高い無線センサー製品を低コストで提供することが可能となる

**Q3** UTECは創業期より関与し、シリーズA以降もリード。事業戦略やファイナンス戦略の立案、日本企業を含む資本業務提携における支援を行っている。



LOCIX Wireless Camera Product

# 株式会社ROMS

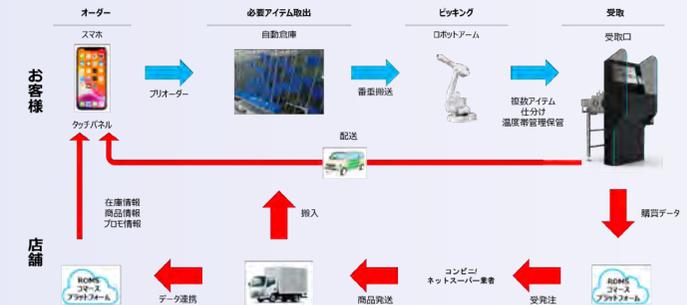
## ROBOTICS OMNI SOLUTIONS

: ロボティクスソリューションをオムニチャネルやサプライチェーンの様々な領域に展開

**Q1** UTECを通じて知り合ったポーランド人2名と元三井物産の日本人 前野洋介氏が、小売や小売のサプライチェーンの無人化・自動化のソリューション提供を通じた社会課題の解決を志して、2019年6月に日本に本社を設ける形で共同創業

**Q2** 日本チームが10年以上培ったビジネスや事業開発、小売の知見とポーランドチームが10年以上培った自動化やインテグレーション、ロボティクスの知見とを融合、更にはグローバルの視点でのIssue Drivenアプローチが競争優位性

**Q3** UTECは創業期より関与し、シリーズA以降のファイナンス、事業戦略の立案、ガバナンス、経営幹部の採用などの支援を行ってきた



ROMSが展開する、ロボット無人店舗・ダークストアソリューション



ROMSの無人店舗ソリューションを利用して東京に展開した実証店舗

## WASSHA株式会社

Power to the People: 途上国に「電気のある暮らし」を届ける



**Q1** CEO秋田智司が、電化市場のポテンシャル、社会的意義及び規制の観点から、アフリカを事業開始地域として選定。CEO秋田と阿部力也東京大学特任教授(当時)の2名によって2013年4月に共同創業。2017年12月に社名をDigital Grid Solutionsから現在のWASSHAに変更

**Q2** アフリカの地方部に点在するキオスク（小規模店舗）と連携し、数百万人規模の消費者カバレッジと消費動向の詳細なデータを保有。また、経営陣はアフリカ・タンザニアに在住。現地メンバーと密接に連携したオペレーション、日本を中心とした大企業との連携、事業の実行力が強み

**Q3** 創業期からのリードインベスターとして、ファイナンス、事業計画、経営幹部採用、組織構築、リーガルリスク対応、IPO準備など様々な支援を行ってきている



未電化地域に電気と明かりを届けます



連携する小売店  
(キオスク)の様子

# 株式会社アルガルバイオ

藻類が創る、新しい未来

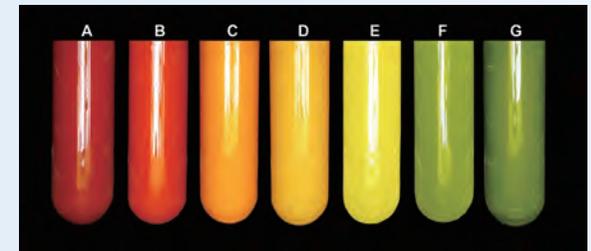
**Q1** 東京大学河野重行名誉教授の20年以上の藻類バイオ研究の成果を基に、河野研究室で博士号を取得した竹下毅博士が、同研究室の閉鎖に際し、機能性成分を効率的に産生させながら微細藻類を大量培養する事業を興すために2018年3月に創業

**Q2** 藻類株の生成や藻類の培養・機能性成分の誘導における様々な知財を基に、数千種類の藻類株を保有

**Q3** 事業化までの研究室の存続のため大学への寄附を行うとともに、創業段階からのリードインベスターとしてシリーズA以降までのファイナンスを行い、事業戦略の立案、経営幹部の採用、資金調達等における支援を行ってきた



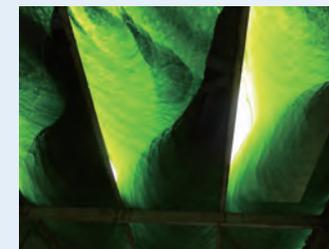
algal bio



様々な機能性成分が育成された「七色クロレラ」。色はカロテノイド種や長鎖脂肪酸種に対応



通常の藻体 (左) と超オイル藻体 (右)



薄層光バイオリアクターでの大量培養

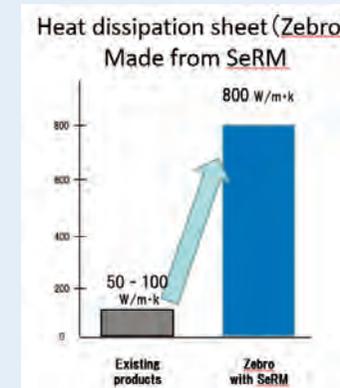
## 株式会社ASM

2016年ノーベル化学賞受賞の「分子トポロジー」を実用化する世界初の超分子材料“Slide-Ring Material (SeRM)”を提供

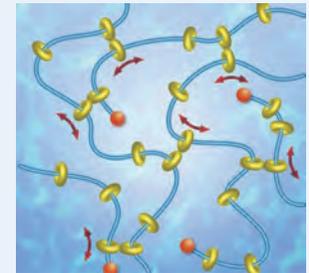
**Q1** 東京大学伊藤耕三研究室で発明された超分子SeRMは、高分子の世界に変革をもたらす基盤技術。これがもたらすアプリケーションのポテンシャルを認識した伊藤教授やUTECにおいて、素材産業で高まる関心に応えるために当社を創業

**Q2** 環動構造を有するSeRMという、2016年ノーベル化学賞受賞の「分子トポロジー(位相幾何学)」を実用化する超分子材料を提供する、今日では世界唯一のメーカー。東京大学の基本特許の専用実施権を保有する知財立脚企業。高分子材料に様々な新性能(強靱性、耐衝撃性、伸長性、復元性など)を付与する超分子材料で、既存の樹脂の抜本的強化、卓越した触力覚(ハプティクス)・形状復元性・振動吸収性・放熱性能の実用化などを可能にする

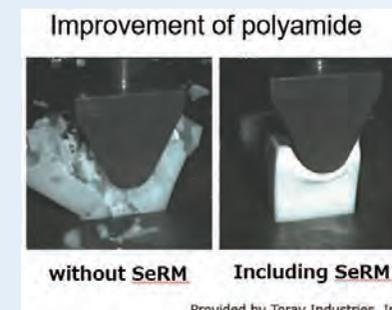
**Q3** 当社設立準備段階から事業計画策定等への関与を行い、設立後はリードインベスターとしてシード期からの資金支援や経営チームビルディング、資本業務提携を含む経営面での助言等を行ってきた



既製品の10倍～の性能を有する放熱シートを顧客とともに開発



SeRMの構造: 分子の滑車で架橋点が動く



ポリアミドの改質: 耐衝撃性と強靱性を飛躍的に上昇

## エクセルギー・パワー・システムズ株式会社

Energy Transitionに取り組む欧米先進地域において、再生可能エネルギーの急激な変動を柔軟に調整するフレキシビリティ・サービスを提供

**Q1** 東京大学生産技術研究所の堤敦司研究室で生まれた次世代パワー型蓄電池を活用した省エネ技術を事業化すべく、UTECの支援により創業

**Q2** 電力需要家が保有する既存の各種分散電源と次世代蓄電池システムを連携運転することで、最低限の蓄電池容量でフレキシビリティ・サービスを送電会社（TSO）に提供するビジネスモデルと欧米での事業開発力

**Q3** シード段階からの資金調達、事業開発、提携先企業との交渉等の継続的な支援



Exergy Power Systems



ドイツ アーヘン工科大学E.ON Energy Research Centerに設置された1MWシステム

## Enterasense Limited

ピル型非侵襲的診断医療機器「PillSense(ピルセンス)」による上部消化管出血診断プロセスにおける課題解決

**Q1** ハーバードメディカルスクール消化器病学教授のChris C Thompsonとシリアル医療機器ベンチャー起業家のDonal Deveryが手を組み、上部消化管出血診断過程の課題（内視鏡利用、診断時間長期化、医療費増加）に着目、非侵襲的な診断機器の開発により課題を解決すべく、ヨーロッパの医療機器開発の中心地であるアイルランド共和国ゴールウェー市で2015年に創業

**Q2** -診断結果を得るまでに平均27時間の待ち時間を要している従来の内視鏡検査に対し、15分以内に上部消化管出血の有無を正確に診断することが可能  
-医療機器の技術開発・商業展開において経験豊富な人材が揃ったチーム

**Q3** 日本を拠点とするグローバル光学機器、電子医療機器会社との共同開発、日本市場展開のサポート



上部消化管出血診断医療機器「PillSense」



Enterasenseのチーム

# 株式会社科学計算総合研究所

AIとシミュレーション技術で製品設計の課題を解決する

Q1

代表の井原遊氏が東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程で行った、物理試験を代替する3次元シミュレーション(CAE)に関する研究成果を基に、情報処理振興機構(IPA)の未踏プロジェクトを経て起業

Q2

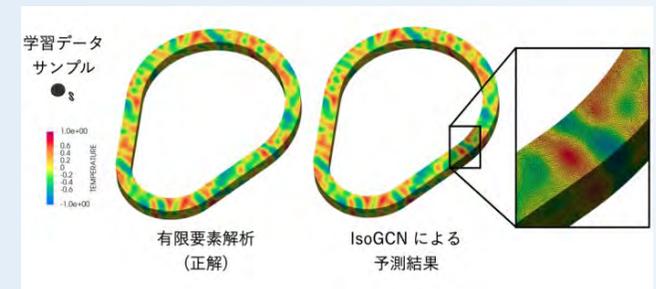
3次元物理シミュレーションを超高速で予測する独自のGraph Neural Network (国内外特許許諾・国外特許許諾予定)

Q3

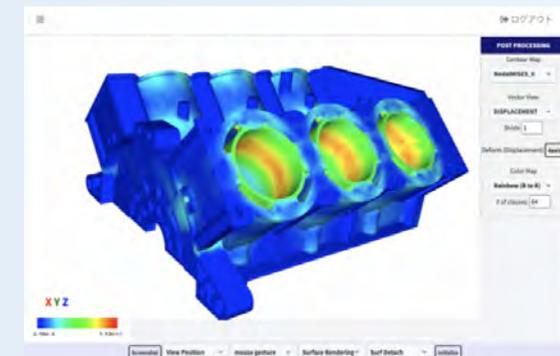
リードインベスターとして、事業開発、経営チーム組成、ガバナンス面での支援



科学計算総合研究所  
Research Institute for Computational Science Co. Ltd.  
RESEARCH INSTITUTE FOR COMPUTATIONAL SCIENCE CO. LTD.



高精度かつ汎用性の高いアルゴリズム



ブラウザ上でシミュレーションを行うツール

## Green Earth Institute株式会社

世界が抱える「エネルギー」「食糧」「地球環境」という課題をコリネ菌で解決したい

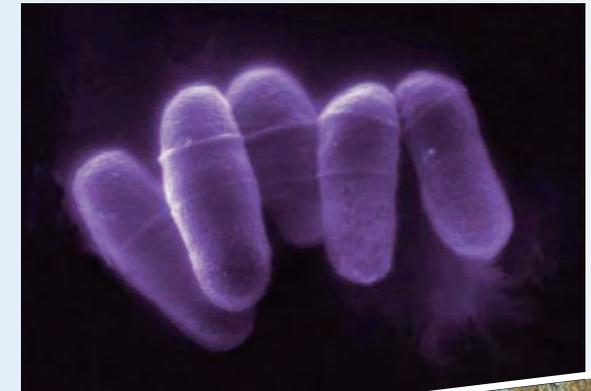
**Q1** 地球環境産業技術研究機構（RITE）のコリネ菌という微生物を使った革新的バイオリファイナリー技術の実用化のため、日本初の“公益財団法人発ベンチャー”として2011年9月に創業

**Q2** 従来の発酵は、食糧と競合するバイオマスを使ってきたが、GEIは、茎や葉、木など非可食バイオマスを原料に、低コストで、バイオ燃料やグリーン化学品を製造可能。さらに、これまでの事業活動で培った国内外の幅広いネットワークを活かして、バイオリファイナリー産業の新しいプラットフォームを構築

**Q3** 会社設立準備から2022年12月のIPOに至るまでの、様々な経営上、事業上、資本上の課題に対するハンズオンでのサポート



Green Earth  
Institute



バイオ燃料や  
グリーン化学品を作るコリネ菌

間伐材や茎・葉など  
非可食バイオマスが原料



世界展開のための  
開発拠点“Green Earth研究所”

## SUN METALON Inc.

人々が思い描いたモノが、あらゆる場所でカタチになる世界へ

### Q1

当時日本製鉄に在籍していた西岡和彦氏と景山宏治氏が、これまで市場に存在しなかったマイクロ波を利用した製鉄方式による金属3Dプリンティング技術を独自に着想し、キャンプ場での実験を経て、2021年2月に起業。「金属部品を地産地消化し宇宙における人類の可能性を飛躍的に拡張する」ことをビジョンとして掲げる

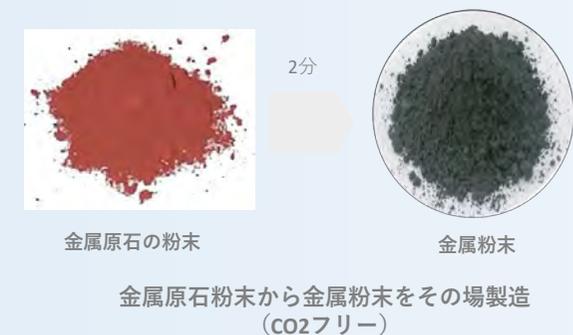
### Q2

- 完全独自技術に基づく革新的な金属3Dプリンティング（超高能率・超安価・超大型）手法とその特許
- 産学での経験豊富なトップエンジニア集団（創業チーム）と、それを支える世界的な技術アドバイザー陣（MIT、Oxford、東京大学）

### Q3

- ディープテック領域における豊富な実績と成功体験に基づく、的確な経営支援（助言、サポート）
- 幹部人材の採用支援、様々な専門家人材の紹介（マーケティング、知財戦略等）

## SUN METALON



# NExT-e Solutions株式会社

先進のバッテリー制御技術でE-モビリティの普及促進と再生可能エネルギーの導入拡大に貢献！

## Q1

UTECのインキュベーションプログラム UTEC EIR (Entrepreneur in Residence) を通じて2008年5月に設立され、事業戦略を立案するとともにNEDOの助成金を基にバッテリーマネジメントシステム(BMS)のプロトタイプを開発。その後、UTECからの創業投資によりチーム組成

## Q2

独自のbalancing技術およびIoTとAIを駆使したバッテリー監視システムによる蓄電池の再利用を通して、E-モビリティ分野とエネルギー分野をつなぐ複数ユーザに電池システムのリースサービスを提供

## Q3

UTECは創業時からのパートナーであり、経営やオペレーション面でも支援。グローバルなメガトレンドをいち早く察知し、資金調達はもちろん、当社の強みを活かした斬新なビジネスモデルの構築や資本業務提携を指導



自社製コア・デバイス



エネルギー分野の事例  
(E-バスのバッテリー活用)



バッテリーライフサイクルマネジメント

## Nelumbo Inc.

UCバークレー／シンガポール南洋技術大学（NTU）発の素材加工技術で  
マテリアル技術にイノベーションを起こす

**Q1** 国際的な大学間連携研究を基に、全く新しいマテリアル技術のプラットフォーム化を試みる為起業。共同創業者でCEOのベリーマン氏はティールフェローで米国 Forbes30under30選出。CTOのブロックウェイ氏は米国エネルギー省フェローでLawrence Berkeley National LabやNASA Jet Propulsion Labの研究者を歴任。エンジニアリング担当のウォルター氏は60以上の特許や論文をもち、米国エネルギー省フェロー

**Q2**

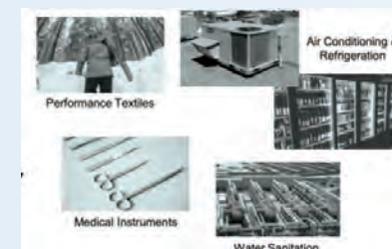
- ユニークでイノベティブな基盤技術
- アプリケーション毎に顧客と共同開発を行い成果を共有するビジネスモデル
- 優秀なチーム

**Q3** 橋頭堡市場であるHeating Ventilation Air Conditioning and Refrigeration (HVAC-R)市場は、製造に関して世界トップOEM10社中4社が日本企業。また、ユーザー市場も世界2位（中国が1位）。UTECとしては特に日本での事業提携の構築やM&Aパートナーの開拓といった支援を行っている

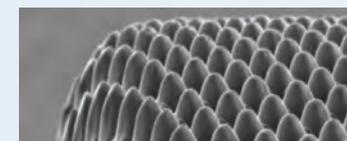
nelumbo



共同創業者 ウォルター氏、ベリーマン氏、ブロックウェイ氏



アプリケーション分野



表面加工イメージ

# BionicM株式会社

Powering Mobility for All.

**Q1** 自身も義足ユーザーである創業者の孫小軍氏が、ソニーでのエンジニア経験と、ロボティクス研究で名高い東京大学大学院情報理工学研究所 稲葉雅幸研究室での博士研究を基に2018年12月に起業。起業前の3年間、UTECと共に科学技術振興機構(JST)のSTARTプログラムを活用して研究開発を進めた

**Q2** 東京大学発ベンチャーとして、ロボティクス工学研究に基づく最先端テクノロジーを活用し、従来の義足の問題を解決し、自然な動きを実現する小型かつ軽量な高機能義足を生み出す

**Q3** シードステージ以来のリードインベスターとして、チーム組成、事業開発、資金調達、ガバナンス面における支援を行ってきた



ロボティック義足



SXSW受賞スピーチ



安全機能比較

## ベジタリア株式会社

最新の植物科学とテクノロジーを駆使し持続可能な環境と健康社会を実現する

### Q1

創業者の小池聡氏が、東京大学EMP(エグゼクティブマネジメントプログラム)修了後に就農し、東大EMP関係者(講師陣、修了生)や各界有識者とともに食・農・健康・環境について議論を進め、それぞれの知見を結集する形で2010年10月に起業

### Q2

東京大学を中心とした各大学や政府系研究機関の研究成果を活かし、屋外計測モニタリングシステム「フィールドサーバ」、水稻向け管理支援システム「パディウォッチ」、クラウド利用型農業支援システム「アグリノート」、植物病理関連サービスを、グループで開発・提供。チームには、上場企業のCEO、CFO経験者等を擁する

### Q3

大学発のシーズの紹介、政府へのアクセス、資本業務提携の助言

**vegetalia**

Vegetation Science & Technology



自社農場で(小池社長)



水田センサ「Paddy Watch」



## マイクロ波化学株式会社

マイクロ波プロセスで世界のエネルギー・化学産業を変革する



Microwave Chemical

**Q1** 大阪大学塚原保徳准教授の研究成果を活用し、「日本発の革新的技術の世界に広めたい」「新しいテクノロジーベンチャーを日本に起こしたい」「環境に貢献する事業を始めたい」という想いを実現しようと、元三井物産の吉野巖氏と塚原氏とで共同創業

**Q2** マイクロ波プロセスを用いたもの作りを可能とするプラットフォーム技術、その技術を開発した化学・物理学の研究者・エンジニアを含む多様な専門家からなるチーム

**Q3** アーリー段階のリードインベスターとして、2011年にパイロット設備建設の為に投資を単独で行った。ほとんどのベンチャーキャピタルや金融機関が「ベンチャー企業が工場を単独で建設するなんて無理」と相手にしない中、技術力と将来性をUTECが評価したことで、世界初のマイクロ波化学工場を建設できた。投資後も、シリーズCまでの資金調達、ガバナンス構築、国内外のビジネスパートナー開拓、人材採用、IPO準備等で支援



世界初の大型マイクロ波化学工場  
(化学品の生産能力は年3200t)



マイクロ波を用いた新製造プラント  
(顧客企業の工場サイトに建設)

## Ubifly Technologies Pvt. Ltd (ePlane)

貨物・旅客輸送用eVTOL（電動垂直離着陸機）の製造を通じて、アーバンエアモビリティ（UAM）に革命を

**Q1** IITマドラス校のスピノフとして、2019年にインドのチェンナイで設立。共同創業者兼CTOのDr. Satya ChakravarthyはIITマドラス大学の航空宇宙工学の教授であり、ジョージア工科大学で博士号を取得後、同校に研究開発センターを設立、インドの同分野の第一人者

**Q2** 翼とローターの相互作用により翼の周りを超循環させる「エアロダイナミック・シナジー」を世界で初めて実現。10～100kmの飛行に適した「低速」で「コンパクトな翼」による高揚力を発生させることが可能。また、複数の冗長性とフェイルセーフ機構により、eVTOLの安全性も向上

**Q3** 製品戦略、製造のスケールアップ、事業開発、資金調達などにおけるグローバルな視点の提供。日本の製造会社や電池メーカーとの協業支援



ePlane 「e200」 モックアップ - 貨物・旅客輸送用200kg機



ePlaneチーム(IITマドラス本社にて)

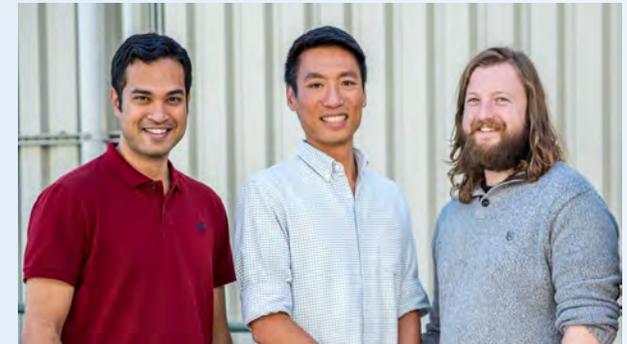
## Liminal Insights Inc.

データ分析でバッテリー製造を高度化し、脱炭素社会を実現

**Q1** プリンストン大学の技術者とUC Berkeleyに関連する起業家プログラムのフェローが、ローレンスバークレー国立研究所と提携して2015年に設立

**Q2** 超音波と機械学習分析を活用したデータ解析で、製造段階を通じた歩留まり管理(Yield Management)を実現。非破壊でセル内部を可視化・分析し、製造工程における物理的な完全性を担保

**Q3** 日本、また周辺アジア諸国は、世界的なりチウムイオン電池バリューチェーンにおいて極めて重要なポジションを占めている。UTECとしては、Liminalが日本などアジア諸国における事業提携や事業開発を円滑に進めていくための支援を行っていく



共同創業者 Shaurjo Biswas博士(CTO)、Andrew Hsieh博士(CEO)、Barry Van Tassell博士(CIO)



検査・解析装置

## Amadeus V Technology Fund LP



英国・ヨーロッパを代表するディープテックベンチャーキャピタルファンド

**Q1** 1997年にイギリス、ヨーロッパ発のテックベンチャーを世界に進出させたいという思いからHermann HauserとAnne Gloverが創業

**Q2** マネジメントチームは元 British Private Equity & Venture Capital Association (BVCA)会長のAnne Glover CEO と王立協会フェローのHermann Hauser博士（二人とも大英帝国勲章受章者）、及びIT、ライフサイエンス、エンジニアリング分野で投資実績豊富なパートナーが揃っている。また、ケンブリッジ大学、オックスフォード大学を始めとするイギリス、ヨーロッパ各地の名門大学や各業界を代表する企業、ベンチャーキャピタルと強いネットワークを持っている

**Q3** UTECとの共同プログラムとして、「AUGMENT- Amadeus UTEC Global Market Expansion of Novel Technologies partnership」を発表。共同投資やバリューアップ等を行っていくことを通じて、英国及びヨーロッパにおける日本とシナジーがあるスタートアップのソーシングを確保するとともに、UTECの投資先スタートアップの支援を図る。UTECとしては、日英欧クロスボーダーでの、市場/アカデミア/企業間の進出・提携支援を行っていく



## Deep30 投資事業有限責任組合

深層学習の無限の可能性で、共に未来をアップデートする

30

**Q1** 深層学習などのAI技術はハードウェアとの連携が重要となってきたことから、既存のインターネット事業よりリスクをとった初期投資が必要となる。そのため、深層学習などのAI技術の実現可能性を見極められる投資主体の必要性を感じた

**Q2** 産学連携の橋渡しをしながら、社会実装のための技術的助言、バックオフィス支援などを行い、AI分野の研究開発、エンジニア育成、バリューアップまでの一貫したサポート体制を構築

**Q3** VCファンド設立・運営に必要なビジネス・法務・財務等の各種知見の指導、投資先への企業紹介やフォロー投資



## Blume Ventures – Fund III

インドにおいてTech/Earlyにフォーカスした最もアクティブかつ最大のファンド (AUM\$200M)

**Q1** Karthik ReddyとSanjay Nathによって2010年に設立。2011年に初めてのファンドとして\$20MのFund Iを設立。その後2015年には\$60MillionのFund II及び\$41MのFund IIAを設立し、2018年には\$102MのFund IIIを設立

**Q2** BlumeはインドにおいてTechにフォーカスしたVCのパイオニア。既にインドのTech分野のスタートアップであるGreyOrange、Tricog、Locus、Carbon Clean Solutions等多数の投資実績があり、Exit 実績としてもOlacabsに買収されたTaxiforsure、Twitterに買収されたZipdial、Nutanixに買収されたMinjar等多数。またBlumeは、投資先企業のバリューアップのために「プラットフォーム」と呼ぶアプローチをとっている。このプラットフォームでは具体的には、Constellation Blu (アドバイザリサービス)、Passion Connect (リクルーティング)、Draper Venture Network (クロスボーダーのサポート)、Arka (インド-米国のB2B tech) 等を運営

**Q3** UTECは日本からは最大のBlumeのLPであり、BUDHA (Blume UTEC Deep-tech Accererator) イニシアチブを共同で実施。BUDHAにおいては、Deep Science/Technologyを武器にグローバルマーケットに挑戦するインドのスタートアップを支援。BUDHAのポートフォリオは、TartanSense (Precision robotics for small farm holders)、Ethereal Machines (5-axis additive and subtractive printing)、Euler Motors (EV for last mile logistics)、Agara Labs (conversational AI for customer support automation)、RayloT (contactless monitoring of body's vital functions) 等



Blume Day 2020



Partnering with Exceptional Founders

# Team

多様なバックグラウンドを持つプロフェッショナルによるサポート

## Investment Professional



Tommy Goji

### 郷治 友孝

代表取締役社長CEO  
マネージングパートナー

ファンド運営及び  
ベンチャー投資全般の統括

- 2004年UTEC創業以来、UTECのチームビルディング、UTEC1号から5号まで850億円の投資事業有限責任組合(ファンド)の設立・運用、科学・技術系スタートアップの投資育成戦略を担う。投資運用責任者として全案件に関与しながら、数々の投資先の役員に就任、これまでに17社が株式上場、13社がM&A等を果たす。
- UTEC以前は、通商産業省(現経済産業省)にて、我が国ベンチャーキャピタルファンドの根拠法となった『投資事業有限責任組合法』(1998年施行)、中小企業の研究開発から事業化までを支援する日本版SBIR制度(1999年施行)等を起草、文化庁、金融庁を経て退官。
- 近年はデータサイエンスを研究し、大学関連スタートアップの成功とその要因を推測・分析。

1996年4月通商産業省(現経済産業省)入省、2004年4月UTEC共同創業。一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会(JVCA)常務理事も務める。東京大学法学部卒、スタンフォード大学経営学修士(MBA)、東京大学大学院工学系研究科坂田・森研究室にて博士(工学)号取得。



Nori Sakamoto

### 坂本 教晃

取締役COO  
パートナー/マネージング  
ディレクター

IT/AI, Life Science &  
Healthcare, Finance

- 経済産業省では、中小企業金融円滑化関連法案や家電リサイクル法の法案作成業務や未踏ソフトウェアプロジェクトに従事。退官後、アパレル流通のファミリービジネスに参画し、新規事業立上げ及び事業整理を実施。
- McKinsey & Company では、日本・東南アジア・欧州を中心に製薬、医療機器、自動車、ハイテク、消費財、金融機関等の業界各社に対し、営業・マーケティング、SCM、M&Aに関するプロジェクトに従事。
- これまで株式会社自律制御システム研究所/ACSL(2018年12月東証マザーズ上場：6232)等の社外監査役、ニューラルポケット株式会社(2020年8月東証マザーズ上場：4056)、株式会社JDSC(2021年12月東証マザーズ上場：4418)、株式会社Finatextホールディングス(2021年12月東証マザーズ上場：4419)、Institution for a Global Society株式会社(2021年12月東証マザーズ上場：4265)等の社外取締役を務めた。

東京大学経済学部卒業後、経済産業省入省。2008年経済産業省退官、流通事業会社の副社長を経て、コロンビア大学経営学修士(MBA)。McKinsey & Company を経て、2014年8月にUTEC参画。



Atsushi Usami

### 宇佐美 篤

取締役パートナー

Life Science &  
Healthcare

- ライフサイエンス分野を中心とするシード/アーリーステージ投資を担当。
- 現在、投資先の五稜化薬(株)、エディットフォース(株)、(株) Epigeneron、BUGWORKS RESERCH, INC.、bitBiome(株)、オリシロジェノミクス(株)、セレイドセラピューティクス(株)、PURMX Therapeutics(株)、ユナイテッド・イミュニティ(株)、レグセル(株)の社外取締役等を兼任。
- (一社)ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)のサポーター等を行う。
- UTEC参画以前には、株式会社三菱総合研究所にて、ライフサイエンス及び他分野製造業メーカーに対する新規事業戦略立案、経営計画策定支援等の業務に従事。

東京大学大学院薬学系研究科生命薬学専攻にて、博士号取得、薬剤師。(株)三菱総合研究所にてコンサルティング業務に従事した後、2013年10月よりUTECに参画。

# Team

多様なバックグラウンドを持つプロフェッショナルによるサポート

## Investment Professional



Keisuke Ide

井出 啓介

パートナー

IT, Physical Science & Engineering

- シリコンバレーでのエンジニアや経営コンサルティング経験を含む15年間の米国滞在後、東京のベンチャー企業を経てベンチャーキャピタル業界に入る。
- 日本と米国の投資先の社外取締役・監査役を務める。Liminal Insights, RICOS, Tellus You Care, Inc.、Nelumbo Inc.、BionicM、Algalbio、他。
- これまでにGLM(株)(海外上場企業によるM&A)、AI inside(株)(東証IPO)、(株)IID(東証IPO)の社外取締役を歴任。また米国Google Inc.による(株)フィジオス買収ではディール開発から交渉まで実行した。Forbes Japan Midas List、日本ベンチャーアワードキャピタリスト賞受賞。
- JVCAベンチャーキャピタリスト研修講師、文部科学省 大学発新産業創出拠点プロジェクト事業プロモーター等を務める。

半導体製造装置エンジニアを経験後、Palo Alto の経営コンサルティング会社 The McKenna Group では要素技術の商品・サービス化とビジネスモデル構築を専門とした。ファブレス半導体ベンチャーでは海外事業開発ディレクターとして従事。Globis Capital Partnersで8年間のコアテック投資を実施し、DMP (TSE 3652)、Physios (MA by Google Inc.)や IID (TSE 6038)を担当した後、2015年UTEC参画。バージニア大学工学部BS(Tau Beta Pi)、スタンフォード大学工学部MS(Honors)



Maiko Katadae

片田江 舞子

パートナー

Life Science & Healthcare, Medical Device

- バイオテック、およびヘルスケア分野を中心に、ライフサイエンス関連の技術デューデリジェンス及び、シード/アーリーステージのベンチャー企業への投資業務を担当。
- 特殊ペプチド創製技術を応用した創薬事業を行うペプチドリーム(株)(2013年6月東証マザーズ上場、2015年12月東証一部上場)のディールソーシングを経て、マネージメントチームの組成、事業計画構築、および事業開発に関与し、監査役を務めた。
- 現在、投資先のElixirgen Therapeutics, Inc.、タグシクス・バイオ(株)、(株)クリュートメディカルシステムズ、ソシウム(株)、(株)Elixir Pharma、fermata(株)の社外取締役を務める。
- 内閣府 地域における大学振興・若者雇用創出事業評価委員、文部科学省 国立研究開発法人審議会臨時委員、経済産業省 産業構造審議会臨時委員

2005年6月UTEC参画。お茶の水女子大学理学部卒、東京大学大学院理学系研究科生物化学専攻修了、博士(理学)。2013年『日経ビジネス』誌が選ぶ「次代を創る100人」に選出。2014年日経ウーマン・オブ・ザ・イヤー準大賞受賞。  
内閣府 地域における大学振興・若者雇用創出事業評価委員  
経済産業省 産業構造審議会臨時委員  
文部科学省 国立研究開発法人審議会臨時委員  
文部科学省 科学技術・学術審議会臨時委員  
文部科学省(JST) 地域共創分野アドバイザー



Naonori Kurokawa

黒川 尚徳

パートナー

Physical Science & Engineering, Life Science & Healthcare

- 物理・化学関連技術に立脚したシード・アーリーステージベンチャー企業への投資に注力。
- 東京大学関連ベンチャーのみならず、その他の国内大学関連ベンチャー企業及び海外案件も幅広く手掛ける。
- 現在投資先のimmunoSCAPE PTE. LTD.、(株)obniz、(株)アダコテック、(株)Gaianixx、(株)セルージュの社外取締役を務める。
- これまでにマイクロ波化学(株)、908 Devices Inc. (Nasdaq: MASS)、(株)FLOSFIA、(株)MOLCURE等の投資を手掛けた。
- 全米のアカデミック研究成果を軸としたベンチャー投資を手掛けるベンチャーキャピタル ARCHVenture Partnersを経てUTECに参画。

株式会社リコー環境技術研究所等で研究開発に従事した後、シカゴ大学留学中にARCH Venture Partnersにアナリストとして参画。  
2009年8月UTEC参画。大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了、シカゴ大学MBA。

# Team

多様なバックグラウンドを持つプロフェッショナルによるサポート

## Investment Professional



Hiroaki Kobayashi

小林 宏彰

プリンシパル

Life Science & Healthcare

- 2019年8月よりUTEC参画。主にヘルスケア・ライフサイエンス領域の投資及びビジネスのサポートを担当。
- 医療機器業界では、スタートアップ、大手メーカーにおいて、国内外での製造や販売等に関するアライアンス構築、アカデミアとの連携、KOLマネジメント、製品市場導入戦略など多様な業務を経験。
- 救急集中治療医としては、都心の大学病院や医療過疎地域の救命センター等で、軽症から最重症まで幅広い疾患分野をカバーする臨床業務、及び、研修医・医学生指導に従事。

東京大学医学部卒業後、同附属病院、日立製作所日立総合病院等で救急集中治療医として勤務。医療機器ベンチャーJOMDDを経て、フルブライト奨学生としてミシガン大学経営大学院(MBA)に留学。帰国後、大手医療機器メーカーでの事業開発本部を経て2019年8月にUTEC参画。



Kiran Mysore

キラン マイソール

プリンシパル

Seed, Early stage investment in AI, Healthcare & IT

- AI研究者からベンチャーキャピタリストに転身し、2018年1月よりUTECに参画。IT分野、Healthcare、Physical SciencesにおけるAIの応用を含むAI分野のシード/アーリーステージ投資を担当。現在Eureka Robotics、Tricog Health、Bugworks Research、OpalAI、Obviously AI、SWAT Mobility、Liminal Insights、Blume Ventures等の取締役またはオブザーバーを務める。過去には2021年10月にCoinbaseにM&AされたAgara(PM Labs)の取締役を務めた。
- UTEC参画前は、デロイトトーマツベンチャーサポート(株)において、インド・東南アジアオペレーションヘッド。アジア全域において50社以上のDeep Techスタートアップ企業に対し日本企業とのコラボレーション等をサポート。また経済産業省とも密接に連携しながら、アジアのスタートアップ企業のためのCEATEC IoT Accelerationプロジェクトを主導。自身で学生主導のベンチャー企業Kriyaを共同創業した経験を有する。
- Stanford ASES(USA)、St. Gallen Symposium(Switzerland)およびYenching Academy (China)において Young Global Leaderに選出。2020年、Finance & Venture Capital部門にてFORBES Asia 30 Under 30に選出。

DTVSにおいてインド・東南アジアオペレーションを主導し、ベンチャー企業Kriyaを共同創業。2013年、スタートアップで急成長中のオンライン旅行会社、Cleartrip Indiaにおいて企業分析を担当。2016年東京大学TMIの修士を卒業。Deep Learningを専門とし2017年にPICMETにおいて論文がパブリッシュ。東京大学工学部(SEUT)フルスカラシップ受賞。



Lenny Chin

陳 嘉洋

プリンシパル

AI & IT, etc.

- 2021年7月よりUTEC参画。AI・量子コンピュータを中心にIT分野におけるシード/アーリーステージ投資を担当。
- 前職のレノボ・ジャパンでは、営業戦略部長としてNEC製品に関する大手家電量販店向け営業戦略立案・実行、オペレーション構築に従事。
- それ以前は、PwC事業再生部門にて窮境企業のターンアラウンドに従事し、主に大手グローバル企業の海外事業再建支援を実施。

カリフォルニア大学サンタバーバラ校 College of Creative Studies数学科卒業。PwCアドバイザリー合同会社の事業再生部門、レノボ・ジャパン(株)を経て、カリフォルニア大学ロサンゼルス校経営学修士(MBA)。同校卒業後、2021年7月にUTEC参画。

# Team

多様なバックグラウンドを持つプロフェッショナルによるサポート

## Investment Professional



森田 翔

プリンシパル

M&A、資本提携

Sho  
Morita

- 2022年UTEC参画。主に投資先のExit戦略(M&A等)・資本提携を担当。
- UTEC参画前は米系投資銀行のラザードにおいて、製造業、エネルギー、ヘルスケア等幅広い業界の顧客企業に対するM&Aの提案及びエグゼキューションに関与。クロスボーダー案件や大手企業の複雑な国内統合案件を含むM&Aアドバイザー業務に7年強従事。その前は国際協力銀行において石油・ガスプロジェクト向けファイナンス等を経験。
- 東京大学農学生命科学研究科修了。修士(応用生命工学)

東京大学農学部卒、同大学院農学生命科学研究科修士課程修了(応用生命工学専攻)  
国際協力銀行(2011-2014)、米系投資銀行のラザード(2014-2022)を経て、2022年UTECに参画



林 佑樹

プリンシパル  
& データサイエンティスト

AI & IT, etc.

Yuki  
Hayashi

- 2017年よりリサーチアシスタントとしてUTECに参画し、デューデリジェンスや投資先への戦略提案に従事するとともに、代表と協働してデータサイエンスプロジェクトを遂行中。
- UTEC参画以前は、東京大学大学院において、FAS産業のクライアントに対し、機械学習を利用した業務効率化の提案・ソフトウェア開発に従事。それ以前は、東京大学において、時系列解析・機械学習分野の研究に従事。大学在学中、アドテクスタートアップの日本法人において、社内データ基盤の構築に従事。

2017年よりUTECにリサーチアシスタントとして参画、2019年4月よりアソシエイト・データサイエンティスト。大学在学中、アドテクスタートアップの日本法人において、エンジニアを経験。東京大学大学院工学系研究科卒(技術経営戦略学)、東京大学工学部卒(機械情報工学)。



塩原 梓

シニアアソシエイト

Life Science & Healthcare

Azusa  
Shiohara

- 2021年9月よりUTEC参画。
- バイオテック、ヘルスケア分野を中心にシード/アーリーステージの投資業務を担当。
- UTEC参画以前には、アーサー・ディ・リトルにて、ヘルスケアチームのマネージャー。製薬企業・医療機器企業を中心に、新規事業戦略、R&D戦略など様々なプロジェクトに従事。
- 東京大学薬学部卒、同大学院薬学系研究科修了、ロンドン・ビジネス・スクール経営学修了(MBA)。

東京大学薬学部卒、同大学院薬学系研究科修了。神経領域の生化学研究に携わる。アーサー・ディ・リトルを経て、ロンドン・ビジネス・スクール経営学修士(MBA)。2021年9月にUTEC参画。

# Team

多様なバックグラウンドを持つプロフェッショナルによるサポート

## Investment Professional



John Suzuki

### 鈴木 慈温

アソシエイト

Life Science & Healthcare  
Physical Sciences  
& Engineering

- 2020年7月にボランティアとしてUTE Cに参画したのち同年11月よりアソシエイト。主にヘルスケア&ライフサイエンスとフィジカルサイエンス&エンジニアリング分野の投資先の新規投資案件提案、デューデリジェンス、既存案件のビジネス構築戦略提案、海外展開などのサポートに従事。
- ケンブリッジ大学工学部化学科卒業、同大学院化学工学学部バイオテクノロジー科修了後、ギレアド・サイエンシズ(カリフォルニア)でのインターンを経て高砂香料工業株式会社(ロンドン)に入社。野依触媒を使った高純度医薬中間体の受託製造、連続製造技術の大手製薬会社への販売促進、プロジェクト管理、価格戦略提案、法的文書などの技術翻訳を経験。
- 2020年3月ハーバードビジネススクール経営大学院(MBA)合格。

2020年7月にUTE C参画、同年11月よりアソシエイト。  
ギレアド・サイエンシズ(カリフォルニア)でのインターンを経て高砂香料工業株式会社(ロンドン)にて野依触媒を使った高純度医薬中間体の受託製造、連続製造技術の大手製薬会社への販売促進、プロジェクト管理、価格戦略提案、法的文書などの技術翻訳を経験。  
ケンブリッジ大学工学部化学科卒、同大学院化学工学学部バイオテクノロジー科修了。  
2020年3月ハーバードビジネススクール経営大学院(MBA)合格。

## Senior Expert



Atsushi Shimada

### 島田 淳司

シニアエキスパート(IP)  
ベンチャーパートナー

Life Science & Healthcare

- 2018年UTE Cに参画。主に、ライフサイエンスの投資先の経営支援を行う。事業開発、経営戦略、知財戦略を得意とする。
- 武田薬品工業(株)では、知的財産部においてAmgen JapanやNycomedなどのM&A案件や多くの製品ライセンス案件のデューデリジェンスを担当。米国イリノイ州のTakeda Pharmaceuticals InternationalのGlobal Licensing and Business Developmentでは、Directorとしてバイオベンチャーとのライセンス案件に従事。
- バイエル薬品(株)経営企画本部においては新規医薬品のライセンスイン、ノンコア製品のライセンスアウト、ライセンス対象の製品スクリーニング、ディール締結後のアライアンスマネジメントに従事。
- 国内大手特許法律事務所では、国内外のバイオベンチャー、製薬会社の知的財産業務に従事した。

2001年より国内大手特許法律事務所、2006年より武田薬品工業(株)、2011-2014年Takeda Pharmaceuticals international 出向、2014年よりバイエル薬品(株)に勤務。2018年よりUTE Cにベンチャーパートナーとして参画。大阪大学工学部卒業、IEビジネススクール修了。弁理士。情報セキュリティアドミニストレータ。

# Team

多様なバックグラウンドを持つプロフェッショナルによるサポート

## HR



Hirofumi Oki

### 沖 大典

HRシニアマネージャー

Human Resources,  
Executive Talent

- 2018年UTEC参画。投資先の経営チーム組成・組織開発、UTEC HRのマネジメントを務める。投資先の創業者や経営者候補の外部招聘/評価・組織図の設計・採用ブランディング・IPOに向けた組織戦略・人事制度設計・リーダーシップ開発などをサポート。起業前のチームビルディングからも支援をし、業界やフェイズ毎に応じたサポートを行う。これまでトップサイエンティストとトップ経営者を引き合わせ、3年間で70名を超えるの経営人材を輩出。また、UTEC独自の経営者タレントプール(UTEC Startup Opportunity Club)の管理、自社UTECのHRも兼任。
- 前職は英系エージェンシーにてバイオベンチャーチームのリードと立ち上げに従事。ヘルスケア領域における、幅広い経営人材(ビジネスサイドから研究、工場・生産周り)を紹介。当ポジションのキャリアコンサルティングにも従事。
- 学生時代から一貫してスタートアップ企業の採用をサポート。人材紹介、採用ブランディング、組織人事設計等経験。

在学中からベンチャーに特化した組織・人事コンサルティングのスタートアップに就業。Web/IT業界の経営人材のヘッドハンティング、ヘルスケアベンチャーへの採用コンサルティングを経て、2018年8月にUTECにHRマネージャーとして参画。



Maiko Inuma

### 飯沼 舞子

HRアソシエイトマネージャー

Human  
Resources

- 2021年9月より、UTEC参画。IT分野を中心に、投資先の組織開発、経営者候補の採用を含む人事活動全般を支援。
- IBMにてシステムエンジニア及びソフトウェアマーケティング職を経て、エグゼクティブサーチファームに参画。テクノロジー、コンシューマーグッズ領域のアソシエイトとして、国内外のクライアントに対する経営人材の外部招聘に従事。
- 前職では、データ活用のITスタートアップにてバックオフィスの初期メンバーとして参画。その後、人事採用担当マネージャーを務める。

慶應義塾大学文学部卒業。IBMにてシステムエンジニア及びソフトウェアマーケティング職を経て、エグゼクティブサーチファームに参画。アソシエイトとして、テクノロジー及びコンシューマーグッズ領域を担当。前職では、データ活用のスタートアップにてバックオフィスの初期メンバーとして参画。その後、人事採用担当マネージャーを務める。2021年9月より、UTEC HRチームに参画。



Masafumi Asakura

### 朝倉 雅文

HRスペシャリスト

Human  
Resources

- 国内外での起業、代表取締役社長、COO経験を有する。
- シンガポールで人材紹介会社の代表取締役社長を務め、スペイン、アイルランド等多国籍なチームをマネジメント。
- (株)リクルート(旧リクルートキャリア)では情報システム、経営企画、事業開発、グローバル企画等に従事。RGF HR Agent Japanの立ち上げに携わり、RGFシンガポール、中国、インド、ベトナム、香港の支援を行う。
- US\$約9.4M資金調達した3Dプリンターと機械学習のスタートアップでCOOをはじめプロダクト統括責任者・経営企画部執行役員、海外事業開発部執行役員等を歴任。
- 経済産業省とのIoT推進ラボや製造業のデジタル化、機械学習のプロジェクトに従事し、2017年東証一部上場企業へM&A。
- PMIの後起業、共同創業者として経営しながらUTECにてベンチャーパートナー兼HRスペシャリストとして米国・日本を始め国内外の投資先支援に従事。

(株)みずほ銀行入行後、株式会社リクルート(旧リクルートキャリア)。その後、シンガポールで人材紹介会社の代表取締役社長を務める。帰国後、3Dプリンターと機械学習のスタートアップに参画。COO、プロダクト統括責任者等を歴任し、2017年東証一部上場企業にM&A。起業し、共同創業者兼CEOとして経営しながら、2020年10月よりUTEC参画。

# Team

多様なバックグラウンドを持つプロフェッショナルによるサポート

HR



Yugo  
Nakashima

中島 佑悟

HRスペシャリスト

Human  
Resources

- 2020年10月よりUTECに参画。投資先におけるHR戦略のマネジメントを担当。300社以上のスタートアップの採用現場に関わった経験から主にリクルーティング活動のサポートを行う。
- UTEC参画前は機械学習技術を用いた採用サービスを展開するスタートアップにてビジネス業務の立ち上げに従事。Python/GAS/R言語を用いたビジネス業務の統計解析や自動化も行う。
- 著書に「採用・人事担当者のためのITエンジニアリングの基本がわかる本」、「データ分析営業」

複数のスタートアップ・ベンチャー企業にてマーケティング、セールス、リクルーティングチームの立ち上げに従事。

# Team

多様なバックグラウンドを持つプロフェッショナルによるサポート

## Administration



崎田 博之

管理部長

Administration

Hiroyuki  
Sakita

- ファンド管理、投資家対応、会社の管理業務全般を担当。
- 有限責任監査法人トーマツではマネージャーとして、上場会社・上場準備会社の監査業務、上場準備やM&Aのための各種調査業務、業務プロセス構築・事業計画策定等のアドバイザー業務に従事。
- スタートアップにてファイナンス、経理・人事総務・法務等のコーポレート業務全般に従事。

2007年 監査法人トーマツ(現有限責任監査法人トーマツ)入所。マネージャーとして監査業務・アドバイザー業務に従事。スタートアップでのファイナンス業務・コーポレート部門立ち上げを経て、2018年1月よりUTECに参画。公認会計士。



吉岡 ふみ

マネージャー

Administration

Fumi  
Yoshioka

- ファンド管理、投資家対応、PR等を担当。
- 有限責任監査法人トーマツでは、投資事業有限責任組合・上場会社・上場準備会社の監査業務、上場準備のための各種調査業務等に従事。
- 会計・税務のアウトソーシング&コンサルティング会社にて法人・組合等の経理、税務業務に従事。

2008年 監査法人トーマツ(現有限責任監査法人トーマツ)入所、監査業務等に従事。会計・税務事務所を経て、2014年よりUTECに参画。京都大学経済学部卒業。公認会計士。



高森 清明

マネージャー

Administration

Kiyooki  
Takamori

- 2021年11月よりUTEC参画。ファンド管理業務を担当。
- UTEC参画以前はファンド管理のサービスプロバイダーであるWM Fund Associates(株)にて、ファンドレイズやファンド運営に関わる管理業務、システム開発を中心に従事。
- それ以前はベンチャー企業にて、経理部長として経理・財務業務や組織再編プロジェクトに従事。

事業会社の経理財務業務に10年携わり、2017年よりWM Fund Associates(株)にマネージャーとしてファンド管理業務に従事。2021年11月よりUTEC参画。中央大学大学院国際会計研究科修了。

# Alumni Venture Partner



Hideki  
Tsuji

## 辻 秀樹

アラムナイ  
ベンチャーパートナー  
UTEC Venture Partners(株)  
取締役

- 日本発の技術でグローバルにインパクトを与えるオープンイノベーション投資に注力。これまで、再生可能エネルギー導入拡大に資するMW級蓄電池システムを活用した分散電源サービスを行うエクセルギー・パワー・システムズ株式会社の欧州展開、デジタル制御技術によるEモビリティ向け蓄電池の再利用を行うNExT-e Solutions(株)のアジア・欧州展開、次世代型SOFC燃料電池を開発するFCO Power株式会社の日本・欧州展開等の次世代技術の事業化を支援。

東京大学法学部卒業後、通商産業省を経て、ヴィジョンアーツ株式会社にCOOとして参画。ペンシルベニア大学ロースクール修士課程・ロンドンビジネススクール修士課程修了後、2006年8月にUTEC参画。



Ted  
Yamamoto

## 山本 哲也

アラムナイ  
ベンチャーパートナー  
UTEC Venture Partners(株)  
取締役

- UTECではIT分野を中心とするシード/アーリーステージ投資を担当する他、グローバル戦略にも注力、UTEC投資先の(株)ROMS、SWAT Mobility Pte.Ltd.、Locix Inc.、Fyusion,Inc.、(株)自律制御システム研究所(ACSL：2018年12月東証マザーズ上場：6232)、(株)MUJIN(2019年2月MBO)、(株)フィジオス(2013年2月Googleにより買収)、(株)ネイキッドテクノロジー(2011年9月ミクシィにより買収)等の社外取締役を務めた。

1994年三井物産(株)入社、三井ベンチャーズにて日米でのIT 関連のベンチャーキャピタル投資事業に10年間従事後、依願退職。2008年7月よりUTECに参画。オックスフォード大学理学部物理科卒業(M.A.Oxon)。英国オックスフォード大学サイド経営大学院エクゼクティブMBA在学(オックスフォードアラムナイ奨学生)。

# その他役員及びシニアアドバイザー

## 茂木 敬司 Keiji Mogi

取締役会長

- 1964年上智大学外国語学部卒業、翌年ルーバン・カトリック大学修士課程ベルギー政府給費留学。
- 三井銀行(現三井住友銀行)にて、会長秘書、ニューヨーク支店副支店長、ブラッセル支店長等を経て、さくら銀行(現三井住友銀行)取締役、さくらカード(株)代表取締役副社長、ソニー生命保険(株)執行役員専務、英国 Bridgepoint Capital アドバイザー等を歴任。2007～2012年、帝京大学経済学部経済学科教授として教鞭を取る。
- 2006年より英国 VenCap International アドバイザーを務める。2010年6月、当社取締役(社外)に就任。

## 中本 和樹 Kazuki Nakamoto

監査役(社外)

- 1976年大阪大学理学部数学科卒業。
- 1976年、大同生命保険相互会社入社。1998年同社取締役就任、2001年同社常務取締役就任、同社取締役常務執行役員、取締役専務執行役員就任を経て、2008年同社代表取締役専務執行役員就任。2010年同社常任監査役就任、2014年同社退任。
- 現在、学校法人近畿大学資産運用委員会委員、(株)クロスポイント・アドバイザーズ顧問。

## 平野 正雄 Masao Hirano

取締役(社外)

- 1980年東京大学大学院工学系研究科反応化学科修士。スタンフォード大学大学院工学系経済工学修士、東京大学大学院工学博士。
- 1980年、日揮(株)入社。1987年マッキンゼー入社、1993年マッキンゼー全社パートナー就任、1998年全社ディレクター(シニア・パートナー)、マッキンゼー日本支社長就任。2007年、カーライル日本共同代表に就任。
- 2012年より早稲田大学商学大学院(ビジネススクール)教授として教鞭をとる。日本ビジネスモデル学会会長。

## 大久保 勝彦 Katsuhiko Okubo

シニアアドバイザー

- 1965年東京大学工学部電子工学科卒業。スタンフォード大学エンジニアリング・スクール Ph.D.
- 1965年、古河電気工業(株)入社、1995年同社取締役就任。常務取締役就任、専務取締役就任を経て、2005年同社退社。
- 2005年、(株)大久保技術経営事務所設立、代表取締役就任(現任)。現在、(株)精工技研社外取締役、日本スタンフォード協会副会長を務める。

## 高橋 浩之 Hiroyuki Takahashi

監査役(社外)

- 1985年東京大学工学部原子力工学科卒、1989年東京大学工学部原子力工学科助手、国際交流室講師、東京大学人工物工学研究センター助教授、高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所併任助教授を経て、2005年より東京大学原子力国際専攻教授、2014年より東京大学工学系研究科長特別補佐、生産技術研究所研究担当、2017年より東京大学工学系研究科社会連携・産学協創推進室長、東京大学産学協創推進本部副本部長を務める。2012年より日本学術振興会産学協力研究委員会第186委員会副委員長を務める。

## 富山 和彦 Kazuhiro Toyama

シニアアドバイザー

- 1985年東京大学法学部卒業。スタンフォード大学経営学修士(MBA)及び公共政策課程修了。
- 1985年、(株)ボストンコンサルティンググループ入社、2001年(株)コーポレートディレクション代表取締役社長就任、2003年(株)産業再生機構代表取締役専務、業務執行最高責任者就任。2007年IGPI(株)経営共創基盤)設立、2009年「JAL再生タスクフォース」サブリーダーに就任。2020年IGPI(株)経営共同基盤)グループ会長就任
- 経済産業省IoT 推進ラボIoT支援委員会座長。